

**「第2次丹波市環境基本計画」改訂のためのアンケート調査
結果報告書**

丹 波 市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 報告書を見る際の注意事項	1
II 市民アンケート調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 地域の自然環境・生活環境について	4
3. 森林や農地・農産物について	17
4. 地球温暖化問題について	21
5. 環境保全活動について	27
6. 生ごみ処理について	37
7. その他	39
III 事業所アンケート調査結果	41
1. 回答事業所の属性	42
2. 環境問題に関する取り組みについて	43
3. 環境教育・環境学習の実施状況について	49
4. 情報の入手、発信について	50

I 調査概要

1. 調査の目的

平成 29 年に策定した「第 2 次丹波市環境基本計画」の中間見直しの参考とするため、丹波市の環境に関する満足度や市民や事業所の取り組み状況、今後の課題などについて把握することを目的として調査を実施した。

2. 調査の設計

(1) 市民調査

- ・調査対象：丹波市内にお住まいの 18 歳以上の男女 1,000 人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布一郵送回収
- ・調査期間：令和 3 年 9 月 6 日（月）～ 令和 3 年 9 月 21 日（火）
- ・回収数：453 票
- ・有効回収数：452 票（有効回収率：45.2%）

(2) 事業所調査

- ・調査対象：丹波市内の事業所 100 事業所
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布一郵送回収
- ・調査期間：令和 3 年 9 月 6 日（月）～ 令和 3 年 9 月 21 日（火）
- ・回収数：31 票
- ・有効回収数：31 票（有効回収率：31.0%）

3. 報告書を見る際の注意事項

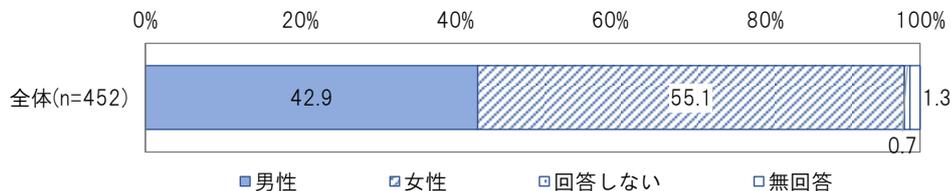
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。
- 1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。
- 市民アンケート調査の居住地域別・年代別クロス集計表については、無回答やその他を除いて、1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。なお、割合が同じ回答が複数ある場合は、3 項目以上に網掛けをしている場合がある。

Ⅱ 市民アンケート調査結果

1. 回答者の属性

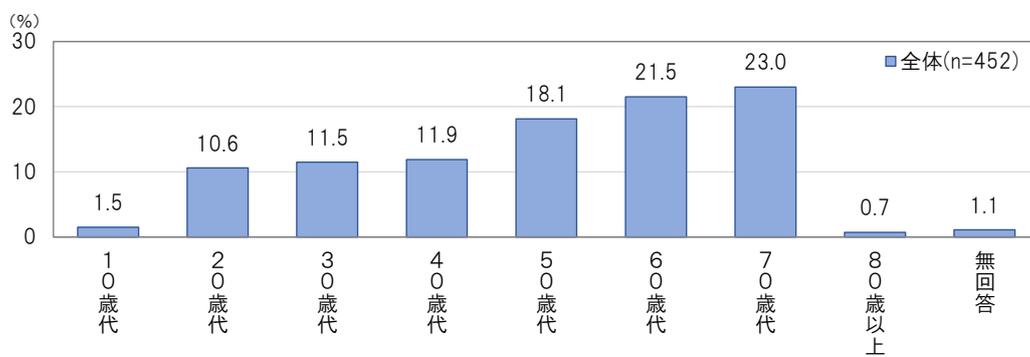
(1) 性別

・回答者の性別は、「男性」が42.9%、「女性」が55.1%となっている。



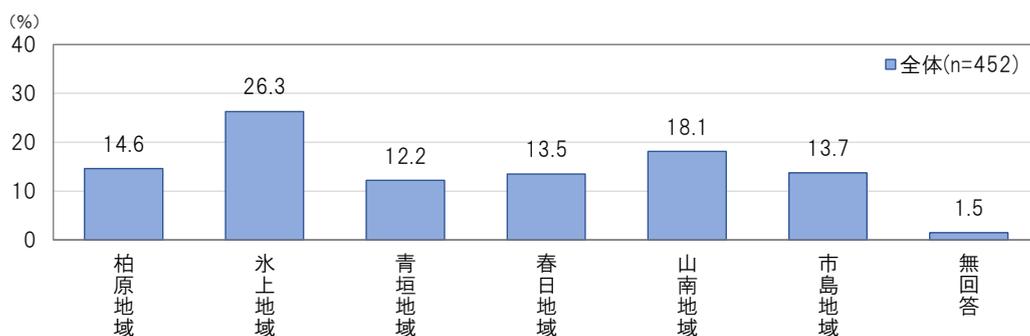
(2) 年代

・回答者の年齢は、「70歳代」が23.0%と最も高く、次いで「60歳代」(21.5%)、「50歳代」(18.1%)の順となっており、『50歳以上』が6割以上を占めている。



(3) 居住地

・回答者の居住地は、「氷上地域」が26.3%と最も高く、次いで「山南地域」(18.1%)、「柏原地域」(14.6%)の順となっている。



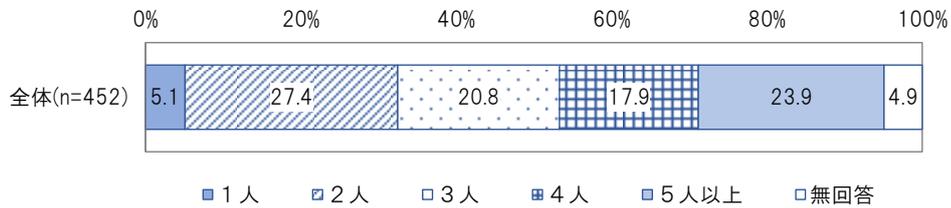
(4) 住宅の種別

・回答者の住宅の種別は、「戸建て」が88.9%と大半を占めている。



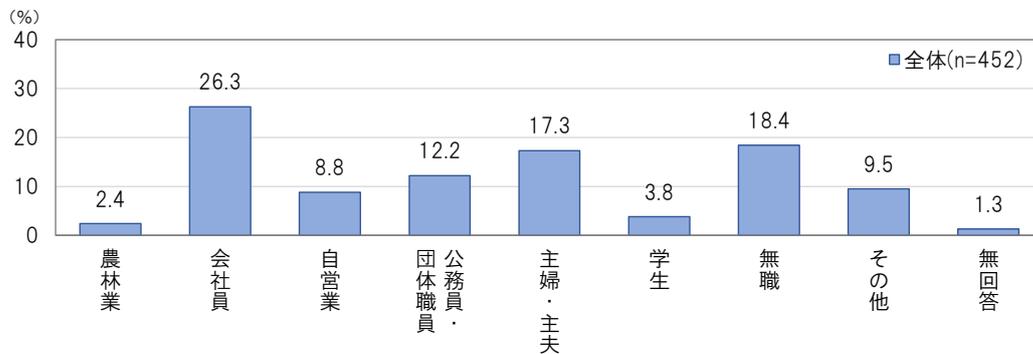
(5) 同居家族の人数

・回答者の同居家族の人数は、「2人」が27.4%と最も高く、次いで「5人以上」(23.9%)、「3人」(20.8%)、「4人」(17.9%)の順となっている。



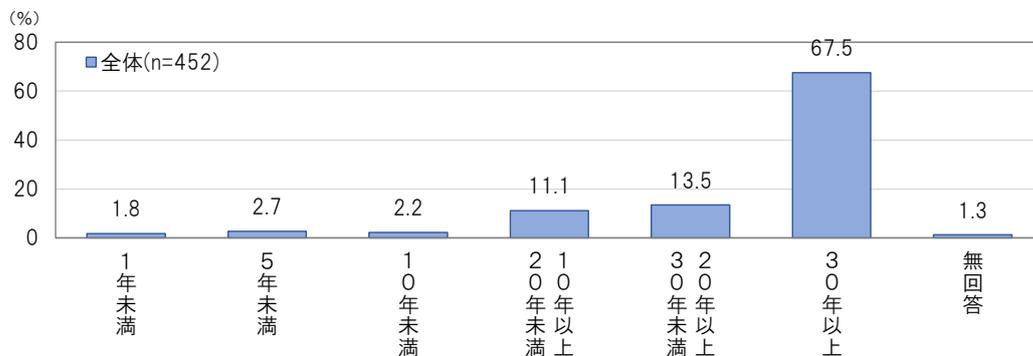
(6) 職業

・回答者の職業は、「会社員」が26.3%と最も高く、次いで「無職」(18.4%)、「主婦・主夫」(17.3%)の順となっている。



(7) 丹波市での居住年数

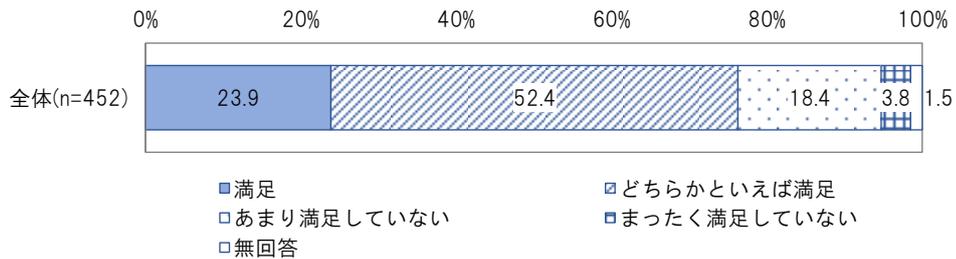
・回答者の丹波市での居住年数は、「30年以上」が67.5%と最も高く、次いで「20年以上 30年未満」(13.5%)、「10年以上 20年未満」(11.1%)の順となっており、『20年以上』が8割以上を占めている。



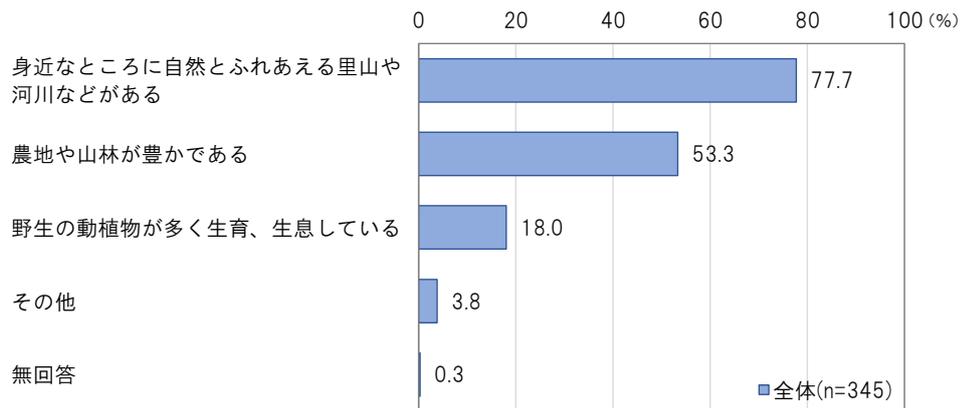
2. 地域の自然環境・生活環境について

(1) 住まいの周辺の自然環境について

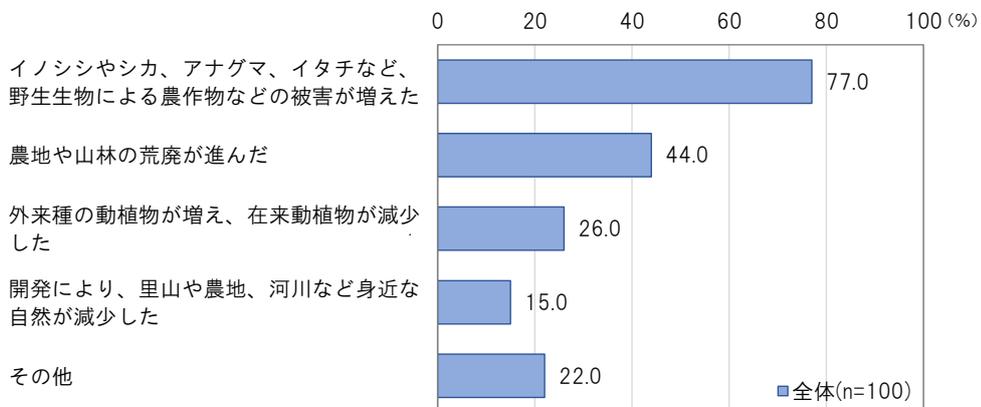
- 住まいの周辺の自然環境については、「どちらかといえば満足」が52.4%と半数を超えて最も高く、「満足」(23.9%)と合わせると、満足している人が7割以上となっている。一方で、『満足していない』(「あまり満足していない」+「まったく満足していない」)が2割以上となっている。
- 満足している人の理由では、「身近なところに自然とふれあえる里山や河川などがある」が77.7%と最も高く、次いで「農地や山林が豊かである」(53.3%)の順となっている。
- 満足していない人の理由では、「イノシシやシカ、アナグマ、イタチなど、野生生物による農作物などの被害が増えた」が77.0%と最も高く、次いで「農地や山林の荒廃が進んだ」(44.0%)の順となっている。



《満足している理由》



《満足していない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『満足』が『満足していない』を上回っているものの、青垣地域、山南地域、市島地域においては、「あまり満足していない」がその他の地域に比べてやや高くなっている。
- 満足している人の理由では、居住地域での大きな差異はみられない。
- 満足していない人の理由では、柏原地域、氷上地域では「外来種の動植物が増え、在来動植物が減少した」がその他の地域に比べてやや高くなっている。

	回答者数(人)	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
柏原地域	66	28.8	59.1	9.1	3.0	-
氷上地域	119	23.5	53.8	17.6	5.0	-
青垣地域	55	29.1	41.8	25.5	1.8	1.8
春日地域	61	34.4	47.5	14.8	3.3	-
山南地域	82	17.1	57.3	20.7	4.9	-
市島地域	62	16.1	56.5	24.2	1.6	1.6

《満足している理由》

	回答者数(人)	身近なところに自然とふれあえる里山や河川などがある	農地や山林が豊かである	野生の動植物が多く生育、生息している	その他	無回答
柏原地域	58	82.8	53.4	13.8	1.7	-
氷上地域	92	77.2	54.3	18.5	2.2	1.1
青垣地域	39	76.9	56.4	12.8	7.7	-
春日地域	50	76.0	56.0	22.0	4.0	-
山南地域	61	80.3	47.5	18.0	4.9	-
市島地域	45	71.1	53.3	22.2	4.4	-

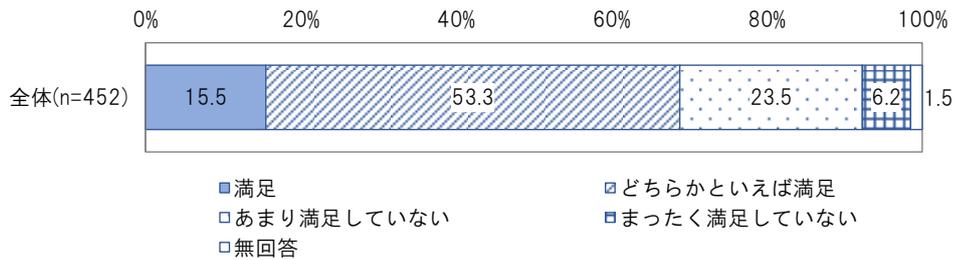
《満足していない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

	回答者数(人)	イノシシやシカ、アナグマ、イタチなど、野生生物による農作物などの被害が増えた	農地や山林の荒廃が進んだ	外来種の動植物が増え、在来動植物が減少した	開発により、里山や農地、河川など身近な自然が減少した	その他
柏原地域	8	75.0	62.5	50.0	-	37.5
氷上地域	27	81.5	33.3	37.0	11.1	18.5
青垣地域	15	73.3	53.3	13.3	20.0	6.7
春日地域	11	81.8	54.5	27.3	-	27.3
山南地域	21	76.2	33.3	19.0	28.6	28.6
市島地域	16	75.0	56.3	18.8	12.5	18.8

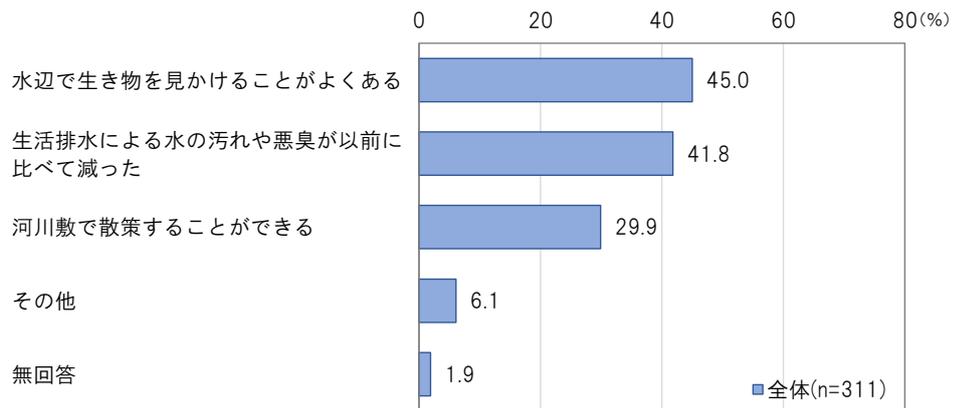
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 住まいの周辺の水路や河川などの水のきれいさについて

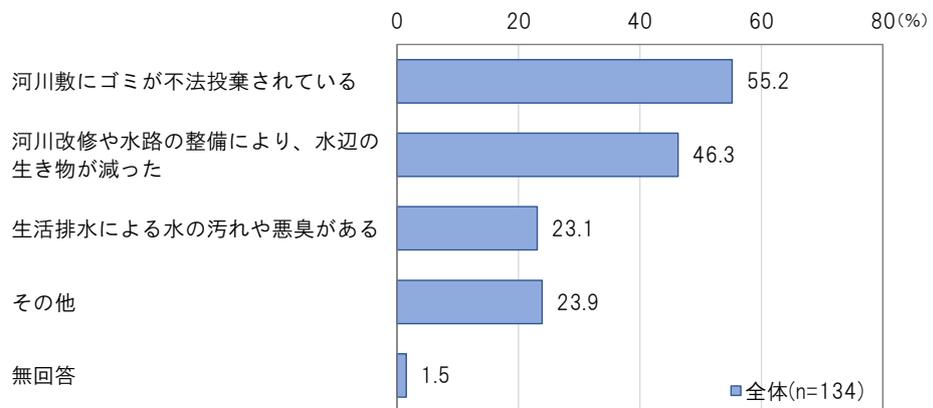
- 住まいの周辺の水路や河川などの水のきれいさについては、「どちらかといえば満足」が53.3%と半数を超えて最も高く、「満足」(15.5%)と合わせると、満足している人が7割近くとなっている。一方で、『満足していない』(「あまり満足していない」+「まったく満足していない」)が約3割となっている。
- 満足している人の理由では、「水辺で生き物を見かけることがよくある」が45.0%と最も高く、次いで「生活排水による水の汚れや悪臭が以前に比べて減った」(41.8%)の順となっている。
- 満足していない人の理由では、「河川敷にゴミが不法投棄されている」が55.2%と最も高く、次いで「河川改修や水路の整備により、水辺の生き物が減った」(46.3%)の順となっている。



《満足している理由》



《満足していない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『満足』が『満足していない』を上回っており、青垣地域においては、「満足」が約3割を占め、その他の地域に比べてやや高くなっている。
- 満足している人の理由では、山南地域では「生活排水による水の汚れや悪臭が以前に比べて減った」が最も高くなっている。
- 満足していない人の理由では、山南地域では「河川改修や水路の整備により、水辺の生き物が減った」が最も高くなっている。

	回答者数(人)	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
柏原地域	66	12.1	53.0	24.2	10.6	-
氷上地域	119	16.8	53.8	22.7	6.7	-
青垣地域	55	29.1	43.6	23.6	1.8	1.8
春日地域	61	16.4	52.5	26.2	4.9	-
山南地域	82	11.0	57.3	24.4	7.3	-
市島地域	62	11.3	61.3	22.6	3.2	1.6

《満足している理由》

	回答者数(人)	水辺で生き物を見かけることがよくある	生活排水による水の汚れや悪臭が以前に比べて減った	河川敷で散歩することができる	その他	無回答
柏原地域	43	44.2	39.5	37.2	4.7	-
氷上地域	84	38.1	35.7	33.3	4.8	2.4
青垣地域	40	50.0	37.5	15.0	12.5	7.5
春日地域	42	50.0	45.2	28.6	7.1	2.4
山南地域	56	42.9	51.8	30.4	1.8	-
市島地域	45	53.3	42.2	31.1	8.9	-

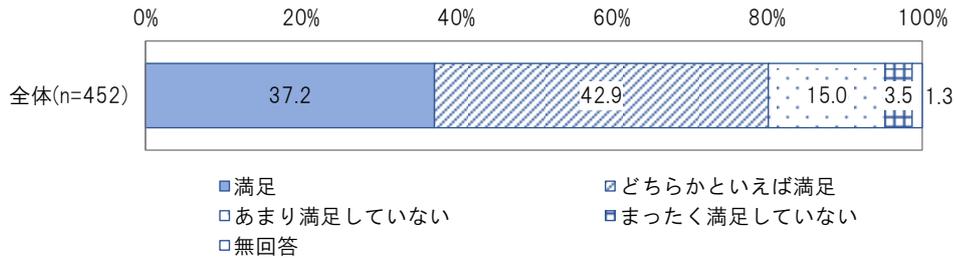
《満足していない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

	回答者数(人)	河川敷にゴミが不法投棄されている	河川改修や水路の整備により、水辺の生き物が減った	生活排水による水の汚れや悪臭がある	その他	無回答
柏原地域	23	47.8	26.1	30.4	43.5	-
氷上地域	35	68.6	40.0	28.6	20.0	5.7
青垣地域	14	71.4	50.0	-	21.4	-
春日地域	19	52.6	42.1	21.1	21.1	-
山南地域	26	38.5	73.1	26.9	23.1	-
市島地域	16	56.3	43.8	18.8	12.5	-

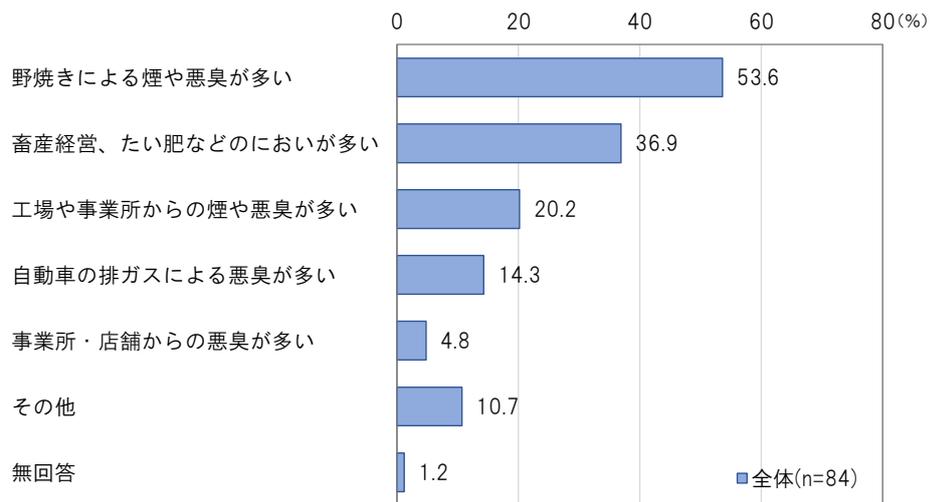
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 住まいの周辺の空気のきれいさについて

- 住まいの周辺の空気のきれいさについては、「どちらかといえば満足」が42.9%と4割を超えて最も高く、「満足」(37.2%)と合わせると、満足している人が約8割となっている。一方で、『満足していない』(「あまり満足していない」+「まったく満足していない」)が2割近くとなっている。
- 満足していない人の理由では、「野焼きによる煙や悪臭が多い」が53.6%と最も高く、次いで「畜産経営、たい肥などのおいが多い」(36.9%)の順となっている。



《満足していない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『満足』が『満足していない』を上回っているものの、氷上地域、青垣地域、山南地域においては、『満足していない』が2割以上を占め、その他の地域に比べてやや高くなっている。
- 満足していない人の理由では、春日地域、市島地域では「畜産経営、たい肥などのおいが多い」、山南地域では「工場や事業所からの煙や悪臭が多い」が最も高くなっている。

	回答者数(人)	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
柏原地域	66	43.9	39.4	13.6	3.0	-
氷上地域	119	32.8	45.4	16.8	5.0	-
青垣地域	55	40.0	38.2	18.2	1.8	1.8
春日地域	61	47.5	39.3	11.5	1.6	-
山南地域	82	26.8	52.4	15.9	4.9	-
市島地域	62	43.5	41.9	12.9	1.6	-

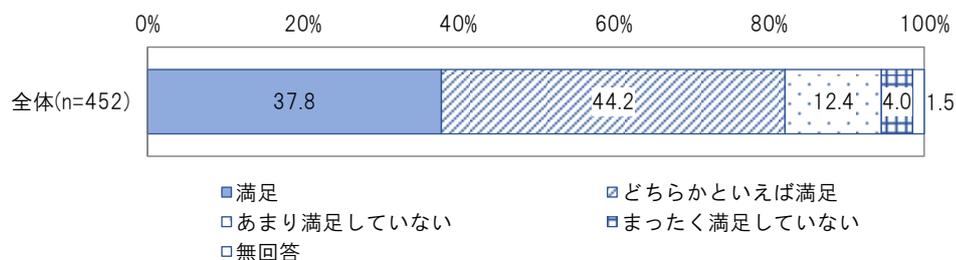
《満足していない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

	回答者数(人)	野焼きによる煙や悪臭が多い	畜産経営、たい肥などのおいが多い	工場や事業所からの煙や悪臭が多い	自動車の排ガスによる悪臭が多い	事業所・店舗からの悪臭が多い	その他	無回答
柏原地域	11	63.6	18.2	9.1	-	9.1	18.2	-
氷上地域	26	61.5	38.5	7.7	23.1	3.8	11.5	3.8
青垣地域	11	63.6	27.3	-	18.2	9.1	18.2	-
春日地域	8	37.5	75.0	-	25.0	12.5	12.5	-
山南地域	17	41.2	23.5	70.6	5.9	-	5.9	-
市島地域	9	44.4	55.6	11.1	11.1	-	-	-

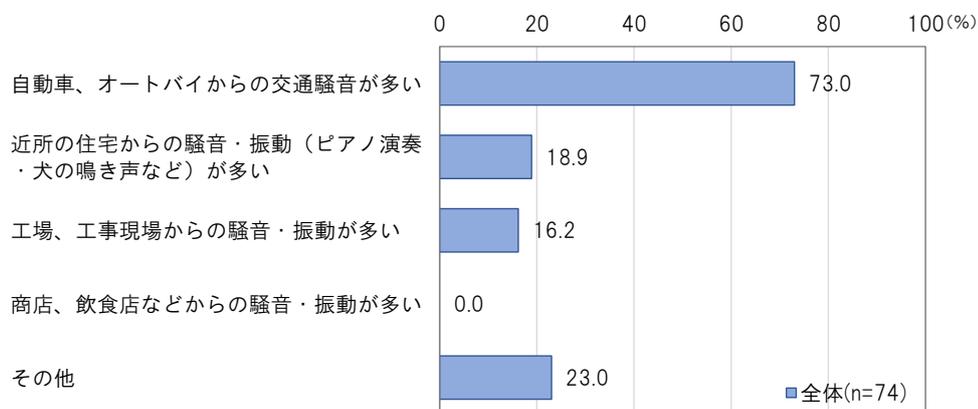
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 住まいの周辺の静けさについて

- 住まいの周辺の静けさについては、「どちらかといえば満足」が 44.2%と4割を超えて最も高く、「満足」(37.8%) と合わせると、満足している人が8割以上となっている。一方で、『満足していない』(「あまり満足していない」+「まったく満足していない」) が2割近くとなっている。
- 満足していない人の理由では、「自動車、オートバイからの交通騒音が多い」が73.0%と突出して高くなっている。



《満足していない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『満足』が『満足していない』を上回っているものの、氷上地域においては、『満足していない』が2割以上を占め、その他の地域に比べてやや高くなっている。
- 満足していない人の理由では、すべての地域で「自動車、オートバイからの交通騒音が多い」が最も高くなっており、次いで、氷上地域、山南地域、市島地域では「工場、工事現場からの騒音・振動が多い」、その他の地域では「近所の住宅からの騒音・振動（ピアノ演奏・犬の鳴き声など）が多い」が高くなっている。

	回答者数(人)	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
柏原地域	66	36.4	43.9	15.2	4.5	-
氷上地域	119	31.1	44.5	16.8	7.6	-
青垣地域	55	40.0	45.5	9.1	3.6	1.8
春日地域	61	52.5	32.8	13.1	1.6	-
山南地域	82	30.5	57.3	9.8	2.4	-
市島地域	62	48.4	40.3	8.1	1.6	1.6

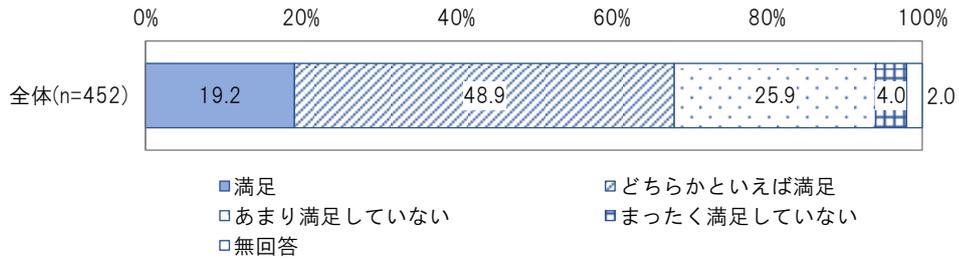
《満足していない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

	回答者数(人)	自動車、オートバイからの交通騒音が多い	近所の住宅からの騒音・振動（ピアノ演奏・犬の鳴き声など）が多い	工場、工事現場からの騒音・振動が多い	商店、飲食店などからの騒音・振動が多い	その他
柏原地域	13	84.6	23.1	-	-	23.1
氷上地域	29	79.3	17.2	20.7	-	20.7
青垣地域	7	85.7	14.3	-	-	28.6
春日地域	9	66.7	22.2	11.1	-	44.4
山南地域	10	50.0	10.0	30.0	-	20.0
市島地域	6	50.0	33.3	33.3	-	-

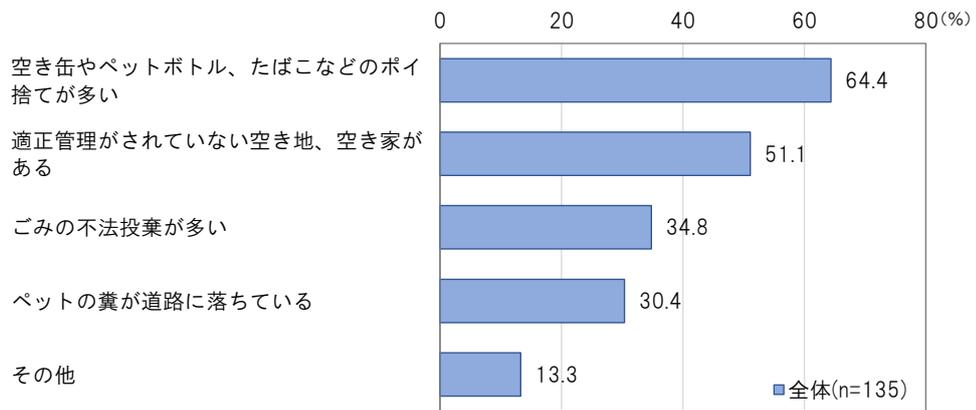
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 住まいの周辺の清潔さについて

- 住まいの周辺の清潔さについては、「どちらかといえば満足」が48.9%と半数近くを占めて最も高く、「満足」(19.2%)と合わせると、満足している人が7割近くとなっている。一方で、『満足していない』(「あまり満足していない」+「まったく満足していない」)が約3割となっている。
- 満足していない人の理由では、「空き缶やペットボトル、タバコなどのポイ捨てが多い」が64.4%と最も高く、次いで「適正管理がされていない空き地、空き家がある」(51.1%)の順となっている。



《満足していない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『満足』が『満足していない』を上回っているものの、柏原地域、市島地域では「満足」が3割近くを占めているのに対し、その他の地域では「あまり満足していない」が次いで高くなっている。特に、氷上地域、青垣地域においては、「あまり満足していない」が約3割を占め、その他の地域に比べてやや高くなっている。
- 満足していない人の理由では、青垣地域、春日地域、市島地域では「適正管理がされていない空き地、空き家がある」、が最も高くなっている。また、柏原地域では「ごみの不法投棄が多い」が4割を超え、その他の地域に比べてやや高くなっている。

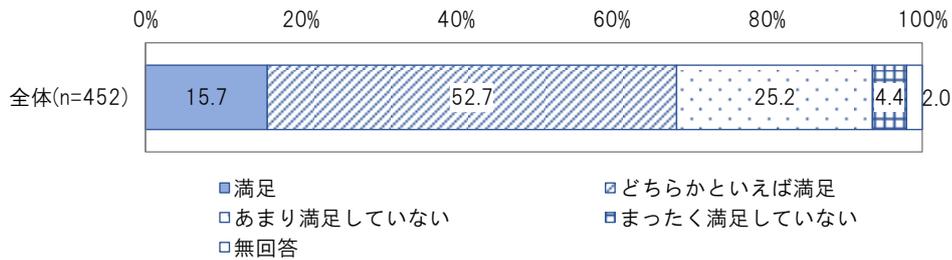
	回答者数(人)	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
柏原地域	66	28.8	40.9	24.2	6.1	-
氷上地域	119	14.3	49.6	31.1	5.0	-
青垣地域	55	18.2	47.3	29.1	3.6	1.8
春日地域	61	19.7	50.8	24.6	4.9	-
山南地域	82	13.4	57.3	25.6	1.2	2.4
市島地域	62	27.4	48.4	19.4	3.2	1.6

《満足していない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

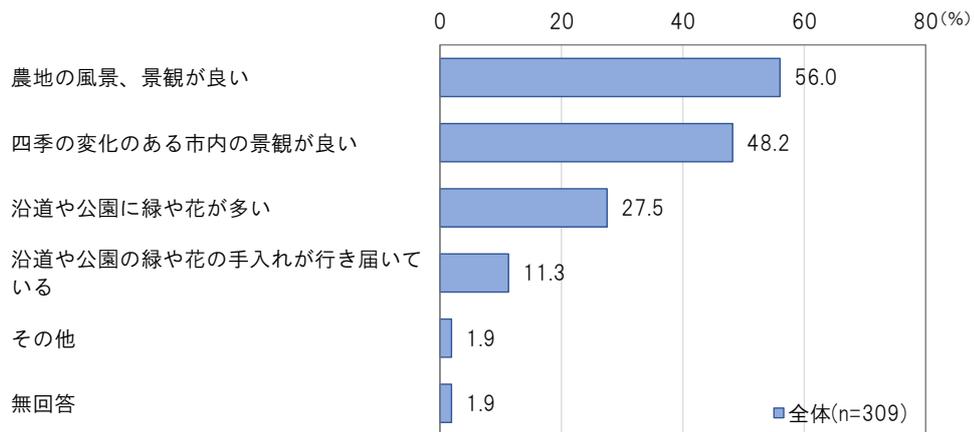
	回答者数(人)	空き缶やペットボトル、たばこなどのポイ捨てが多い	適正管理がされていない空き地、空き家がある	ごみの不法投棄が多い	ペットの糞が道路に落ちている	その他
柏原地域	20	75.0	30.0	45.0	35.0	20.0
氷上地域	43	67.4	41.9	37.2	37.2	2.3
青垣地域	18	50.0	61.1	22.2	22.2	11.1
春日地域	18	66.7	72.2	33.3	11.1	33.3
山南地域	22	59.1	54.5	36.4	18.2	4.5
市島地域	14	64.3	64.3	28.6	57.1	28.6

(6) 住まいの周辺の緑や公園、景観について

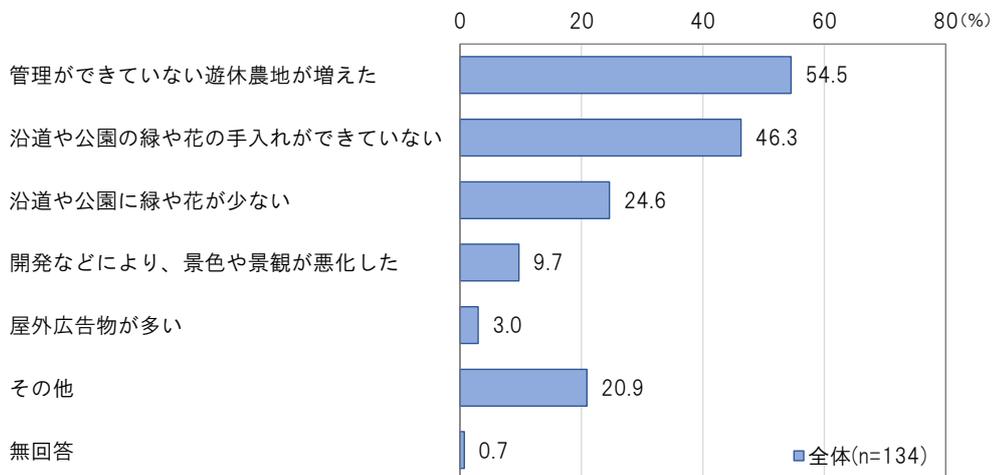
- 住まいの周辺の緑や公園、景観については、「どちらかといえば満足」が52.7%と半数を超えて最も高く、「満足」(15.7%)と合わせると、満足している人が7割近くとなっている。一方で、『満足していない』(「あまり満足していない」+「まったく満足していない」)が約3割となっている。
- 満足している人の理由では、「農地の風景、景観が良い」が56.0%と最も高く、次いで「四季の変化のある市内の景観が良い」(48.2%)の順となっている。
- 満足していない人の理由では、「管理ができていない遊休農地が増えた」が54.5%と最も高く、次いで「沿道や公園の緑や花の手入れができていない」(46.3%)の順となっている。



《満足している理由》



《満足していない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『満足』が『満足していない』を上回っているものの、青垣地域、市島地域においては、『満足していない』がその他の地域に比べてやや高くなっている。
- 満足している人の理由では、柏原地域、春日地域では「四季の変化のある市内の景観が良い」が最も高くなっている。
- 満足していない人の理由では、柏原地域、氷上地域では「沿道や公園の緑や花の手入れができていない」、山南地域では「沿道や公園に緑や花が少ない」が最も高くなっている。

	回答者数(人)	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
柏原地域	66	21.2	57.6	16.7	4.5	-
氷上地域	119	11.8	57.1	25.2	5.9	-
青垣地域	55	12.7	50.9	34.5	-	1.8
春日地域	61	21.3	45.9	24.6	6.6	1.6
山南地域	82	9.8	63.4	26.8	-	-
市島地域	62	24.2	38.7	25.8	8.1	3.2

《満足している理由》

	回答者数(人)	農地の風景、景観が良い	四季の変化のある市内の景観が良い	沿道や公園に緑や花が多い	沿道や公園の緑や花の手入れが行き届いている	その他	無回答
柏原地域	52	40.4	44.2	32.7	17.3	1.9	3.8
氷上地域	82	59.8	42.7	34.1	12.2	2.4	-
青垣地域	35	57.1	48.6	17.1	5.7	5.7	2.9
春日地域	41	61.0	63.4	22.0	2.4	-	2.4
山南地域	60	55.0	48.3	30.0	15.0	1.7	1.7
市島地域	39	64.1	48.7	17.9	10.3	-	2.6

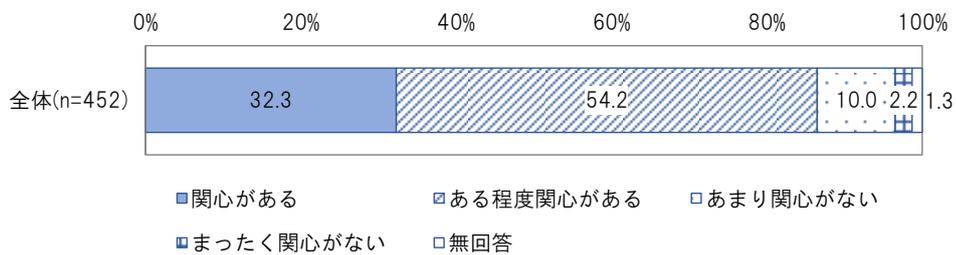
《満足していない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

	回答者数(人)	管理ができていない遊休農地が増えた	沿道や公園の緑や花の手入れができていない	沿道や公園に緑や花が少ない	開発などにより、景色や景観が悪化した	屋外広告物が多い	その他	無回答
柏原地域	14	50.0	71.4	28.6	-	7.1	14.3	-
氷上地域	37	51.4	54.1	32.4	10.8	2.7	8.1	2.7
青垣地域	19	57.9	36.8	10.5	10.5	-	31.6	-
春日地域	19	68.4	36.8	21.1	10.5	10.5	26.3	-
山南地域	22	36.4	22.7	36.4	13.6	-	27.3	-
市島地域	21	71.4	61.9	14.3	9.5	-	19.0	-

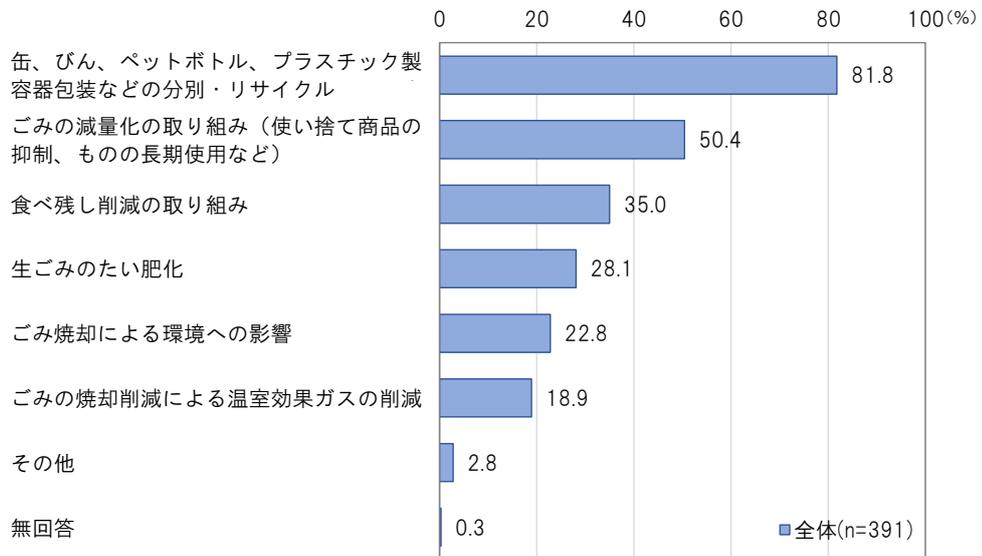
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(7) ごみの分別・リサイクル、ごみの減量化について

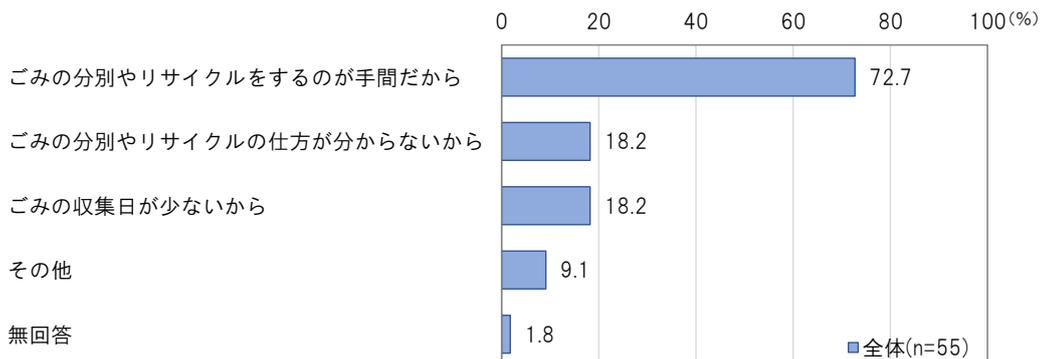
- ごみの分別・リサイクル、ごみの減量化については、「ある程度関心がある」が54.2%と半数を超えて最も高く、「関心がある」(32.3%)と合わせると、関心がある人が8割以上となっている。一方で、『関心がない』(「あまり関心がない」+「まったく関心がない」)が1割以上となっている。
- 関心のある人の関心のある内容では、「缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装などの分別・リサイクル」が81.8%と最も高く、次いで「ごみの減量化の取り組み(使い捨て商品の抑制、ものの長期使用など)」(50.4%)の順となっている。
- 関心がない人の理由では、「ごみの分別やリサイクルをするのが手間だから」が72.7%と突出して高くなっている。



《関心のある内容》



《関心がない理由》



■居住地域別

- すべての地域で『関心がある』が『関心がない』を上回っており、特に、市島地域では9割を超えてその他の地域に比べて高くなっている。
- 関心のある人の関心のある内容では、青垣地域では「食べ残し削減の取り組み」、氷上地域では「ごみ焼却による環境への影響」、春日地域では「生ごみのたい肥化」や「ごみの焼却削減による温室効果ガスの削減」が、その他の地域に比べて高くなっている。
- 満足していない人の理由では、柏原地域、氷上地域では「沿道や公園の緑や花の手入れができていない」、山南地域では「沿道や公園に緑や花が少ない」が最も高くなっている。

	回答者数(人)	関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
柏原地域	66	36.4	53.0	9.1	1.5	-
氷上地域	119	33.6	53.8	8.4	4.2	-
青垣地域	55	21.8	60.0	14.5	1.8	1.8
春日地域	61	41.0	45.9	11.5	1.6	-
山南地域	82	26.8	57.3	13.4	2.4	-
市島地域	62	37.1	58.1	4.8	-	-

《関心のある内容》

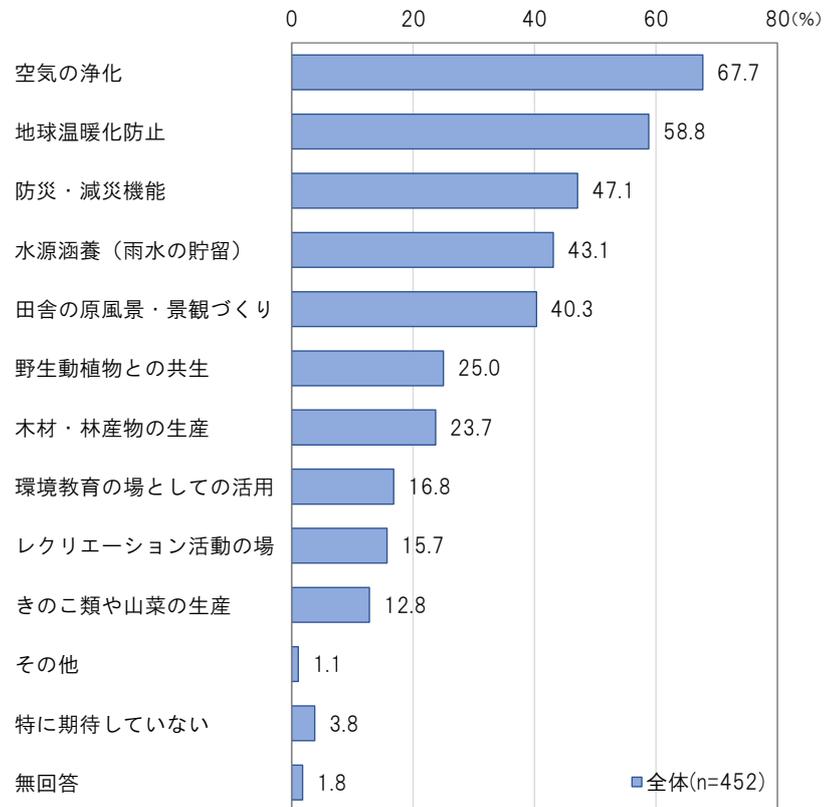
	回答者数(人)	食べ残し削減の取り組み	ごみの減量化の取り組み(使い捨て商品の抑制、ものの長期使用など)	生ごみのたい肥化	ごみ焼却による環境への影響	ごみの焼却削減による温室効果ガスの削減	その他	無回答	
柏原地域	59	76.3	50.8	37.3	25.4	15.3	18.6	3.4	-
氷上地域	104	86.5	45.2	34.6	26.0	30.8	20.2	3.8	-
青垣地域	45	80.0	48.9	42.2	31.1	17.8	13.3	4.4	-
春日地域	53	83.0	54.7	28.3	37.7	24.5	26.4	-	1.9
山南地域	69	81.2	52.2	36.2	20.3	20.3	17.4	4.3	-
市島地域	59	81.4	54.2	33.9	30.5	22.0	16.9	-	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

3. 森林や農地・農産物について

(1) 森林に期待する役割

・森林に期待する役割については、「空気の浄化」が67.7%と最も高く、次いで「地球温暖化防止」(58.8%)、「防災・減災機能」(47.1%)、「水源涵養(雨水の貯留)」(43.1%)、「田舎の原風景・景観づくり」(40.3%)の順となっている。



■居住地域別

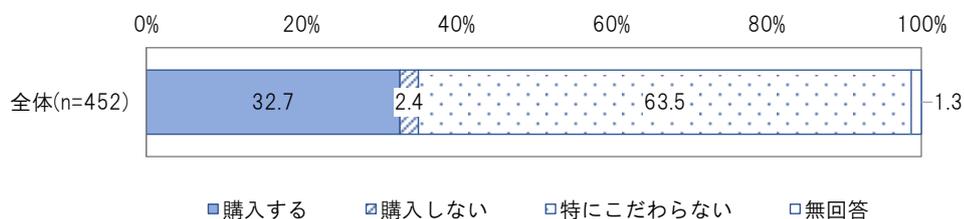
- すべての地域で、「空気の浄化」が最も高く、次いで「地球温暖化防止」となっている。
- その他、市島地域では「防災・減災機能」、春日地域では「田舎の原風景・景観づくり」、氷上地域、青垣地域では「木材・林産物の生産」で、それぞれその他の地域に比べて高くなっている。

	回答者数（人）	空気の浄化	地球温暖化防止	防災・減災機能	水源涵養（雨水の貯留）	田舎の原風景・景観づくり	野生動植物との共生	木材・林産物の生産
柏原地域	66	72.7	62.1	48.5	34.8	28.8	28.8	18.2
氷上地域	119	68.1	59.7	49.6	44.5	42.0	25.2	30.3
青垣地域	55	61.8	50.9	40.0	43.6	40.0	21.8	29.1
春日地域	61	68.9	59.0	44.3	47.5	52.5	23.0	23.0
山南地域	82	73.2	59.8	46.3	48.8	37.8	23.2	22.0
市島地域	62	66.1	66.1	54.8	40.3	45.2	29.0	17.7

（つづき）	回答者数（人）	環境教育の場としての活用	レクリエーション活動の場	きのこ類や山菜の生産	その他	特に期待していない	無回答
柏原地域	66	16.7	15.2	13.6	4.5	3.0	-
氷上地域	119	20.2	15.1	15.1	-	4.2	-
青垣地域	55	12.7	12.7	3.6	1.8	9.1	3.6
春日地域	61	19.7	19.7	16.4	-	1.6	1.6
山南地域	82	12.2	19.5	11.0	-	3.7	-
市島地域	62	19.4	11.3	14.5	1.6	1.6	-

(2) 丹波市の農産物の購入について

- 丹波市の農産物の購入については、「特にこだわらない」が63.5%と6割を超えて最も高く、「購入する」は3割程度となっている。



■年代別

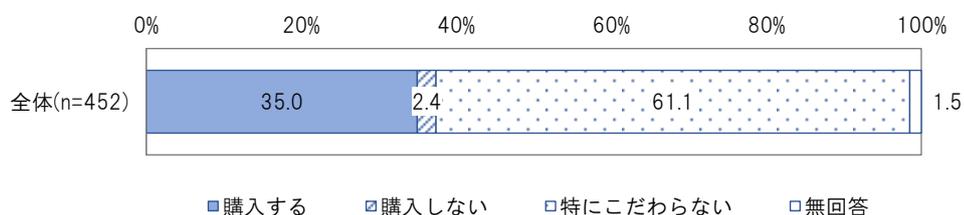
- 年代別にみると、概ね年代が高くなるにつれて「購入する」の割合が高くなる傾向がみられる。

	回答者数 (人)	購入する	購入しない	特にこだわらない	無回答
10歳代	7	28.6	-	71.4	-
20歳代	48	22.9	6.3	70.8	-
30歳代	52	32.7	-	65.4	1.9
40歳代	54	31.5	5.6	63.0	-
50歳代	82	26.8	3.7	69.5	-
60歳代	97	36.1	2.1	61.9	-
70歳代	104	40.4	-	59.6	-
80歳以上	3	66.7	-	33.3	-

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 無農薬や有機栽培など、環境に配慮して作られた農産物の購入について

- 環境に配慮して作られた農産物の購入については、「特にこだわらない」が61.1%と6割を超えて最も高く、「購入する」は3割程度となっている。



■年代別

- 年代別にみると、概ね年代が高くなるにつれて「購入する」の割合が高くなる傾向がみられ、60～70歳代では半数近くを占めている。

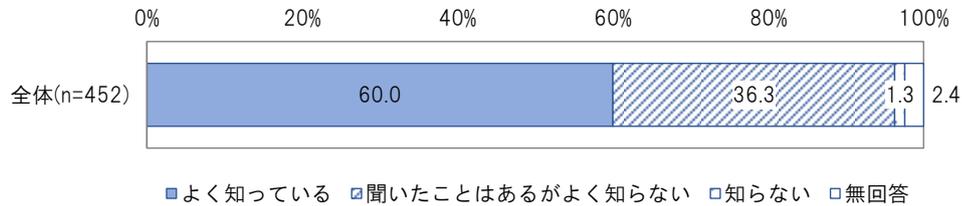
	回答者数 (人)	購入する	購入しない	特にこだわらない	無回答
10歳代	7	14.3	-	85.7	-
20歳代	48	27.1	4.2	68.8	-
30歳代	52	28.8	1.9	67.3	1.9
40歳代	54	25.9	1.9	72.2	-
50歳代	82	23.2	2.4	74.4	-
60歳代	97	48.5	1.0	50.5	-
70歳代	104	47.1	3.8	48.1	1.0
80歳以上	3	-	-	100.0	-

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

4. 地球温暖化問題について

(1) 「地球温暖化」の認知度

- 地球温暖化については、「よく知っている」が60.0%と6割を占めて最も高くなっているものの、「聞いたことはあるがよく知らない」(36.3%)と「知らない」(1.3%)を合わせると、知らない人が4割近くとなっている。



■年代別

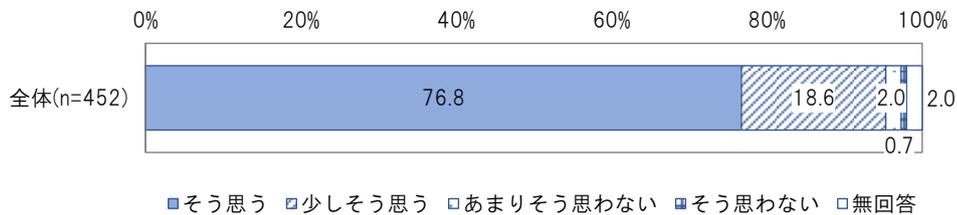
- 年代別にみると、10歳代では「聞いたことはあるがよく知らない」が最も高く、「よく知っている」は半数未満となっている。
- 「よく知っている」の割合をみると、60歳代で約7割を占めて最も高くなっている。

	回答者数 (人)	よく知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
10歳代	7	42.9	57.1	-	-
20歳代	48	60.4	35.4	4.2	-
30歳代	52	61.5	36.5	-	1.9
40歳代	54	63.0	35.2	1.9	-
50歳代	82	53.7	45.1	1.2	-
60歳代	97	70.1	28.9	-	1.0
70歳代	104	55.8	38.5	1.9	3.8
80歳以上	3	100.0	-	-	-

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 気象及び気候の極端な現象の発生頻度の高まりについて

- 気象及び気候の極端な現象の発生頻度の高まりについては、「そう思う」が76.8%と7割を超えて最も高く、「少しそう思う」(18.6%)と合わせると、ほぼ全員が気象及び気候の極端な現象の発生頻度の高まりを感じている結果となっている。



■年代別

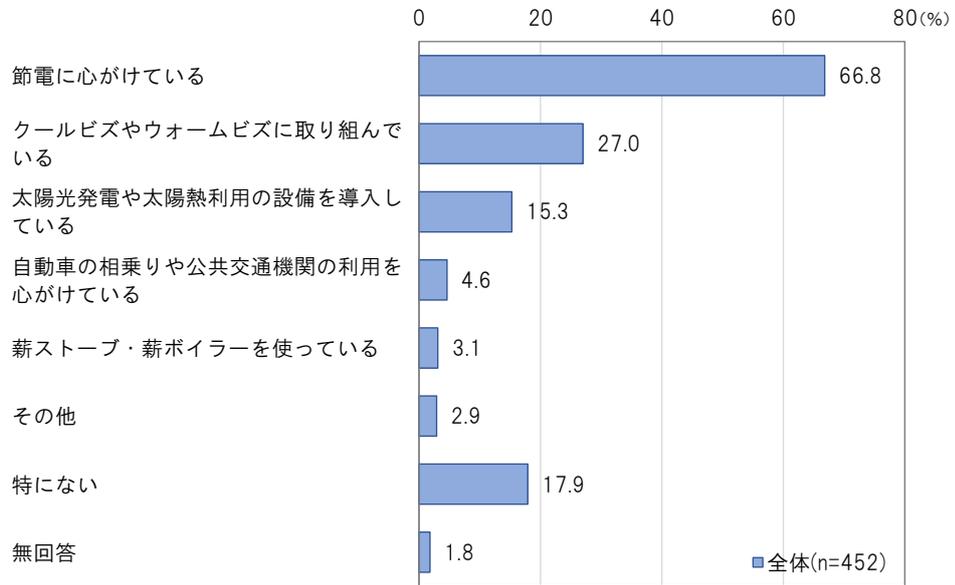
- 年代別にみると、すべての年代で『そう思う』(「そう思う」+「少しそう思う」)が大半を占めており、年代での大きな差異はみられない。

	回答者数 (人)	そう 思う	少し そう 思う	い あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
10歳代	7	57.1	42.9	-	-	-
20歳代	48	64.6	31.3	4.2	-	-
30歳代	52	75.0	23.1	-	-	1.9
40歳代	54	79.6	14.8	3.7	1.9	-
50歳代	82	78.0	18.3	2.4	1.2	-
60歳代	97	81.4	15.5	2.1	1.0	-
70歳代	104	82.7	13.5	1.0	-	2.9
80歳以上	3	33.3	66.7	-	-	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 地球温暖化対策として普段行っている行動

- 地球温暖化対策として普段行っている行動については、「節電に心がけている」が66.8%と最も高く、次いで「クールビズやウォームビズに取り組んでいる」(27.0%)の順となっている。
- 一方で、「特にない」が17.9%と2割近くとなっている。



■年代別

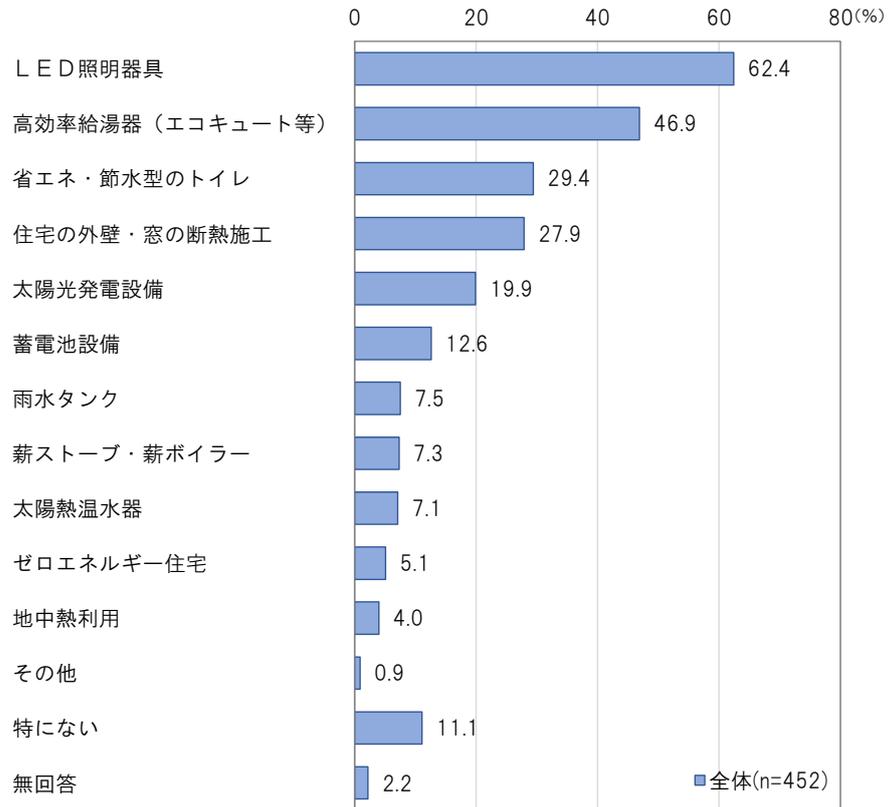
- 年代別にみると、20歳代及び80歳以上で「特にない」が3割程度を占め、その他の年代に比べてやや高くなっている。
- また、10歳代では「自動車の相乗りや公共交通機関の利用を心がけている」、30歳代では「太陽光発電や太陽熱利用の設備を導入している」で、その他の年代に比べてやや高くなっている。

	回答者数 (人)	節電に心がけている	クールビズやウォームビズに取り組んでいる	太陽光発電や太陽熱利用の設備を導入している	自動車の相乗りや公共交通機関の利用を心がけている	薪ストーブ・薪ボイラーを使っている	その他	特にない	無回答
10歳代	7	85.7	28.6	-	14.3	-	-	14.3	-
20歳代	48	60.4	25.0	6.3	6.3	2.1	-	29.2	-
30歳代	52	63.5	30.8	21.2	5.8	3.8	1.9	13.5	1.9
40歳代	54	51.9	31.5	18.5	3.7	5.6	3.7	20.4	-
50歳代	82	64.6	29.3	18.3	4.9	2.4	2.4	22.0	-
60歳代	97	81.4	33.0	17.5	2.1	3.1	4.1	9.3	-
70歳代	104	69.2	18.3	12.5	5.8	2.9	3.8	19.2	1.9
80歳以上	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	-

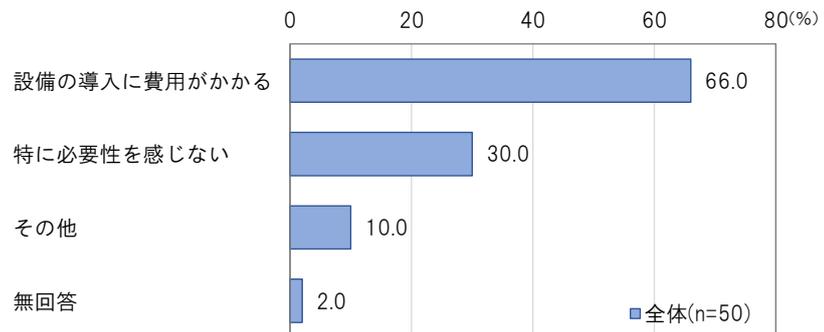
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 家庭で利用している、もしくは今後利用したい省エネルギーの設備

- 家庭で利用している、もしくは今後利用したい省エネルギーの設備については、「LED照明器具」が62.4%と最も高く、次いで「高効率給湯器（エコキュート等）」(46.9%)、「省エネ・節水型のトイレ」(29.4%)、「住宅の外壁・窓の断熱施工」(27.9%)の順となっている。
- 一方で、「特にない」が11.1%と1割以上となっている。その理由では、「設備の導入に費用がかかる」が66.0%と最も高く、次いで「特に必要性を感じない」(30.0%)となっている。



《利用している、もしくは今後利用したい省エネルギーの設備がない理由》



■年代別

- 年代別にみると、「特にない」が10歳代で4割以上、80歳以上で3割以上を占め、その他の年代に比べて高くなっている。
- また、30歳代では「省エネ・節水型のトイレ」や「住宅の外壁・窓の断熱施工」、「蓄電池設備」、「薪ストーブ・薪ボイラー」などで、その他の年代に比べてやや高くなっている。

	回答者数(人)	LED照明器具	高効率給湯器(エコキュート等)	省エネ・節水型のトイレ	住宅の外壁・窓の断熱施工	太陽光発電設備	蓄電池設備	雨水タンク
10歳代	7	57.1	42.9	42.9	28.6	28.6	-	-
20歳代	48	58.3	33.3	35.4	29.2	12.5	10.4	10.4
30歳代	52	61.5	48.1	42.3	42.3	25.0	23.1	9.6
40歳代	54	57.4	48.1	27.8	31.5	27.8	11.1	5.6
50歳代	82	67.1	45.1	24.4	32.9	23.2	15.9	6.1
60歳代	97	73.2	53.6	26.8	30.9	21.6	16.5	10.3
70歳代	104	58.7	51.0	27.9	13.5	12.5	4.8	5.8
80歳以上	3	-	-	33.3	-	33.3	-	-

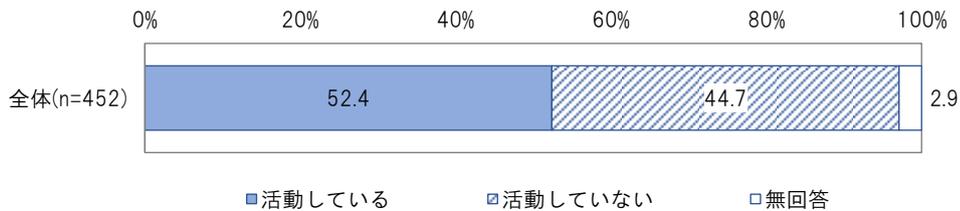
(つづき)	回答者数(人)	薪ストーブ・薪ボイラー	太陽熱温水器	ゼロエネルギー住宅	地中熱利用	その他	特にない	無回答
10歳代	7	-	-	14.3	-	-	42.9	-
20歳代	48	8.3	8.3	8.3	8.3	2.1	10.4	-
30歳代	52	15.4	9.6	13.5	7.7	1.9	15.4	1.9
40歳代	54	5.6	9.3	7.4	3.7	1.9	13.0	-
50歳代	82	11.0	11.0	-	4.9	1.2	8.5	-
60歳代	97	5.2	6.2	4.1	3.1	-	6.2	-
70歳代	104	3.8	2.9	2.9	1.0	-	12.5	2.9
80歳以上	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

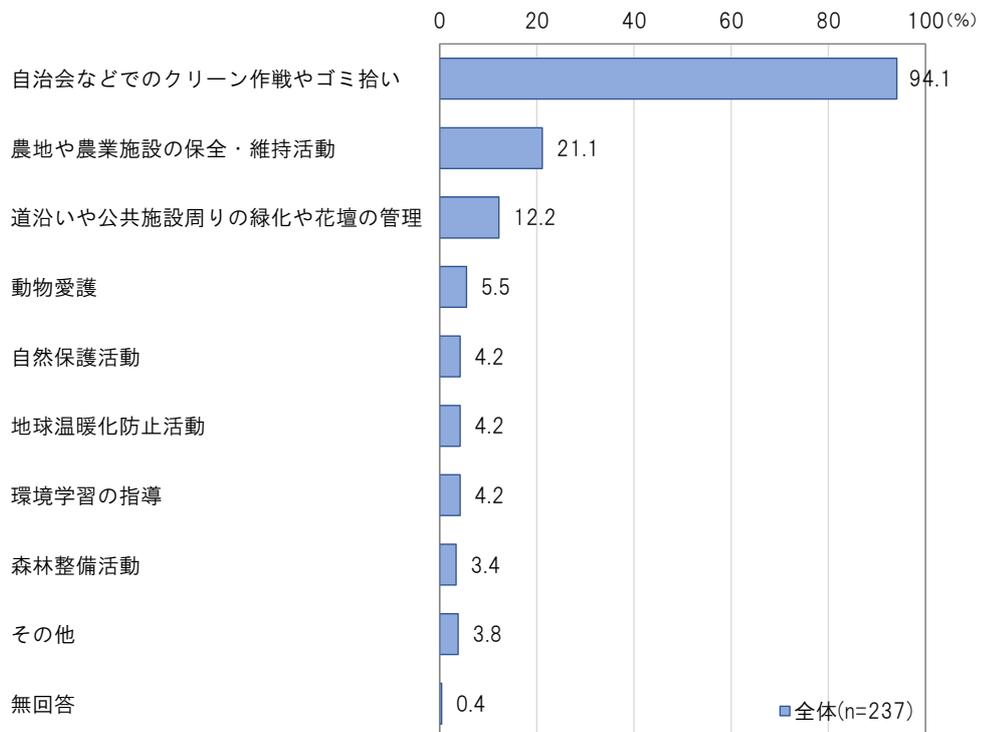
5. 環境保全活動について

(1) 環境をよくするための活動について

- 環境をよくするための活動については、「活動している」が 52.4%と半数を超えており、「活動していない」は 44.7%となっている。
- 活動している人の内容では、「自治会などでのクリーン作戦やゴミ拾い」が 94.1%と、その他の項目と比べて突出して高くなっている。次いで、「農地や農業施設の保全・維持活動」(21.1%)、「道沿いや公共施設周りの緑化や花壇の管理」(12.2%)の順となっている。



《活動している内容》



■居住地域別

- 地域別にみると、柏原地域では「活動していない」が半数を越えて最も高くなっている。その他の地域では「活動している」が最も高くなっており、特に市島地域では6割以上を越えてその他の地域に比べて高くなっている。
- 活動している人の内容では、市島地域では「農地や農業施設の保全・維持活動」や「道沿いや公共施設周りの緑化や花壇の管理」、氷上地域では「動物愛護」で、それぞれその他の地域に比べてやや高くなっている。

	回答者数(人)	活動している	活動していない	無回答
柏原地域	66	48.5	51.5	-
氷上地域	119	51.3	44.5	4.2
青垣地域	55	49.1	47.3	3.6
春日地域	61	54.1	44.3	1.6
山南地域	82	51.2	48.8	-
市島地域	62	66.1	33.9	-

《活動している内容》

	回答者数(人)	自治会などでの クリーン作戦や ゴミ拾い	農地や農業施設 の保全・維持活 動	道沿いや公共施 設周りの緑化や 花壇の管理	動物愛護	自然保護活動
柏原地域	32	90.6	9.4	12.5	3.1	9.4
氷上地域	61	98.4	24.6	9.8	11.5	4.9
青垣地域	27	92.6	7.4	3.7	3.7	-
春日地域	33	87.9	21.2	6.1	-	3.0
山南地域	42	92.9	21.4	16.7	2.4	-
市島地域	41	97.6	34.1	22.0	7.3	7.3

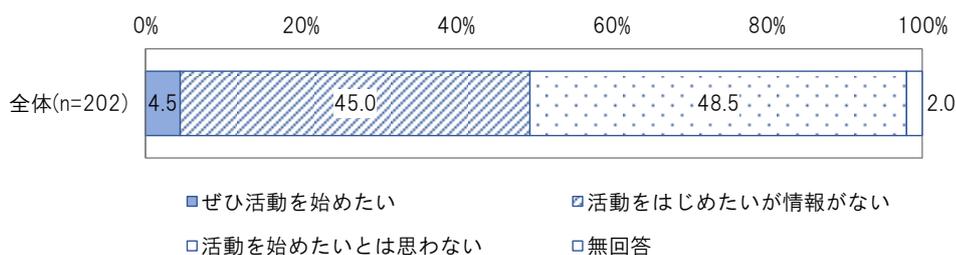
(つづき)	回答者数(人)	地球温暖化防止 活動	環境学習の指導	森林整備活動	その他	無回答
柏原地域	32	3.1	3.1	3.1	12.5	-
氷上地域	61	1.6	4.9	1.6	1.6	-
青垣地域	27	7.4	3.7	-	7.4	-
春日地域	33	3.0	9.1	15.2	-	-
山南地域	42	4.8	2.4	2.4	-	2.4
市島地域	41	7.3	2.4	-	4.9	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

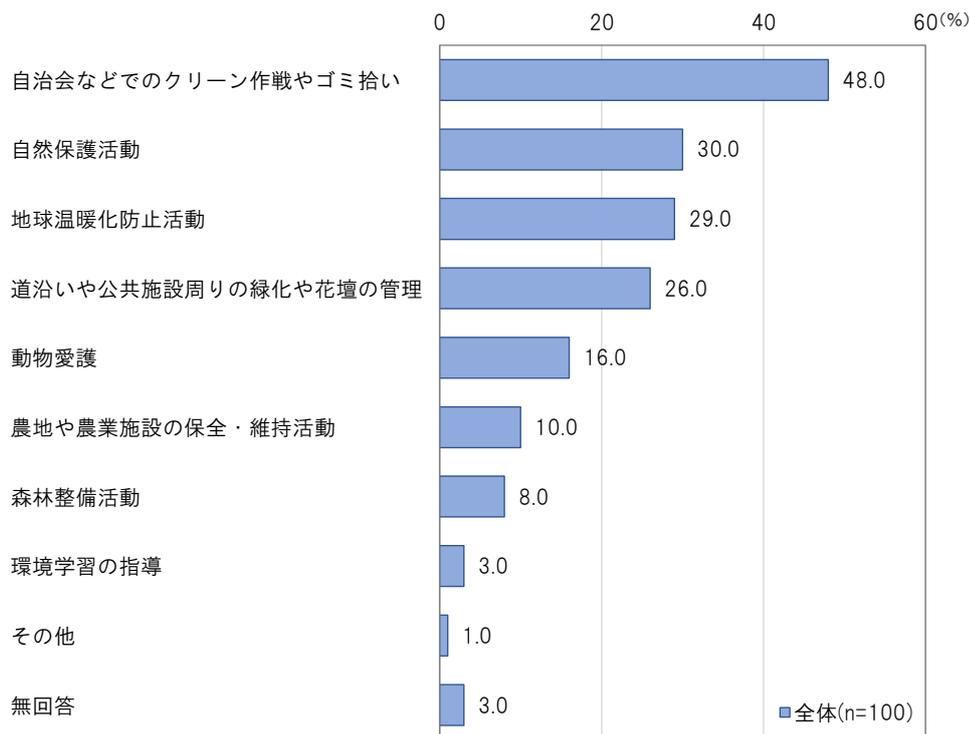
(2) 環境をよくするための活動への今後の参加意向

※(1)で「活動していない」と回答した人のみ

- 環境をよくするための活動への今後の参加意向については、「活動を始めたいとは思わない」が48.5%と半数近くを占めて最も高くなっている。
- 一方で、「ぜひ活動を始めたい」(4.5%)と「活動をはじめたいが情報が無い」(45.0%)を合わせた活動意向のある人は、約半数を占めている。
- 活動意向のある人のこれからはじめたい活動の内容では、「自治会などでのクリーン作戦やゴミ拾い」が48.0%と最も高く、次いで「自然保護活動」(30.0%)、「地球温暖化防止活動」(29.0%)、「道沿いや公共施設周りの緑化や花壇の管理」(26.0%)の順となっている。

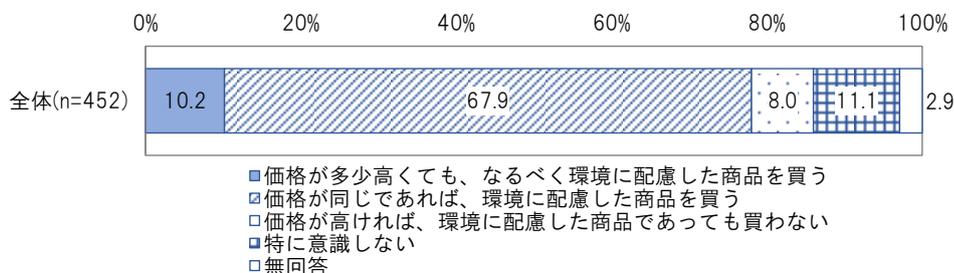


《これからはじめたい活動の内容》



(3) 環境に配慮した商品を買う際の価格に対する考え

- 環境に配慮した商品を買う際の価格に対する考えについては、「価格が同じであれば、環境に配慮した商品を買う」が67.9%と7割近くを占めて最も高くなっており、「価格が多少高くても、なるべく環境に配慮した商品を買う」は約1割となっている。
- また、「特に意識しない」が11.1%と1割以上となっている。



■年代別

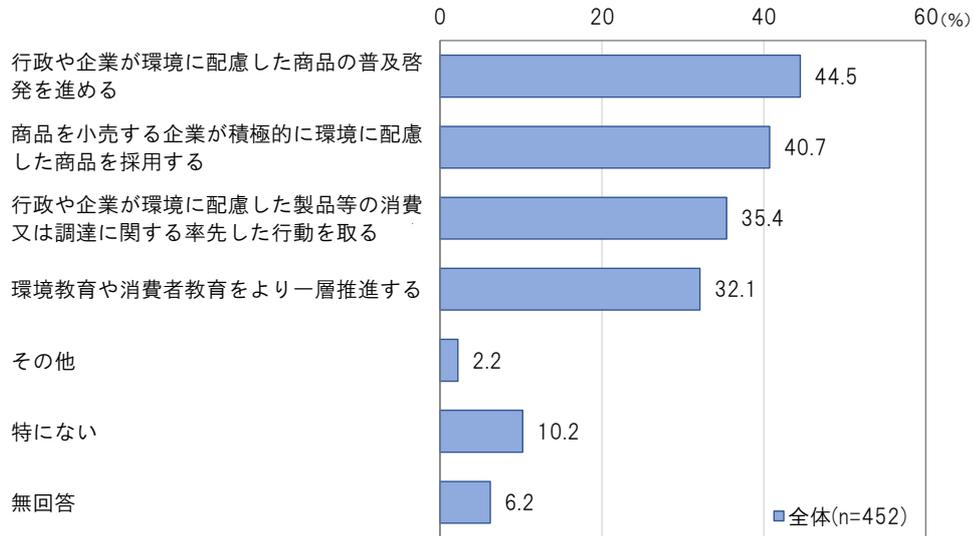
- 年代別にみると、10歳代や70歳代では「価格が多少高くても、なるべく環境に配慮した商品を買う」がその他の年代に比べてやや高くなっている。

	回答者数(人)	価格が多少高くても、なるべく環境に配慮した商品を買う	価格が同じであれば、環境に配慮した商品を買う	価格が高ければ、環境に配慮した商品であっても買わない	特に意識しない	無回答
10歳代	7	14.3	57.1	14.3	14.3	-
20歳代	48	10.4	60.4	12.5	16.7	-
30歳代	52	7.7	73.1	11.5	3.8	3.8
40歳代	54	5.6	66.7	14.8	9.3	3.7
50歳代	82	9.8	69.5	11.0	9.8	-
60歳代	97	11.3	75.3	3.1	10.3	-
70歳代	104	13.5	65.4	2.9	14.4	3.8
80歳以上	3	-	66.7	-	33.3	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 環境に配慮した商品の利用が進むための取り組み

- 環境に配慮した商品の利用が進むための取り組みについては、「行政や企業が環境に配慮した商品の普及啓発を進める」が 44.5%と4割を超えて最も高く、次いで「商品を小売する企業が積極的に環境に配慮した商品を採用する」(40.7%)、「行政や企業が環境に配慮した製品等の消費又は調達に関する率先した行動を取る」(35.4%)の順となっている。



■年代別

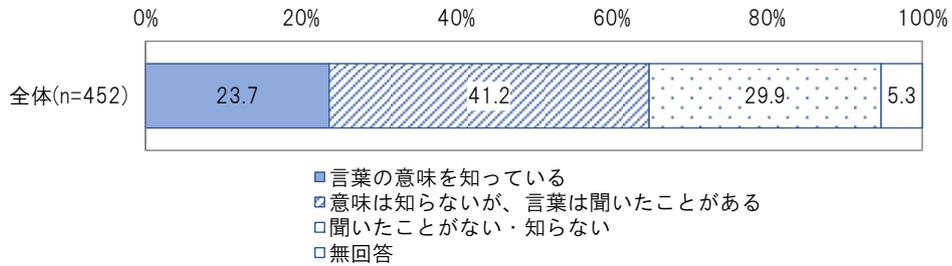
- 年代別にみると、60歳代では「行政や企業が環境に配慮した商品の普及啓発を進める」や「商品を小売する企業が積極的に環境に配慮した商品を採用する」、40歳代では「行政や企業が環境に配慮した製品等の消費又は調達に関する率先した行動を取る」が、その他の年代に比べてやや高くなっている。

	回答者数 (人)	行政や企業が環境に配慮した商品の普及啓発を進める	商品を小売する企業が積極的に環境に配慮した商品を採用する	行政や企業が環境に配慮した製品等の消費又は調達に関する率先した行動を取る	環境教育や消費者教育をより一層推進する	その他	特にない	無回答
10歳代	7	42.9	71.4	28.6	57.1	-	14.3	-
20歳代	48	31.3	41.7	27.1	31.3	4.2	14.6	4.2
30歳代	52	48.1	40.4	34.6	44.2	3.8	3.8	1.9
40歳代	54	40.7	44.4	46.3	33.3	3.7	5.6	1.9
50歳代	82	46.3	36.6	35.4	25.6	3.7	14.6	1.2
60歳代	97	56.7	50.5	40.2	34.0	-	9.3	-
70歳代	104	41.3	33.7	32.7	29.8	1.0	11.5	14.4
80歳以上	3	-	-	-	-	-	-	100.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 「生物多様性」の認知度

- 生物多様性については、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」が41.2%と4割以上を占めて最も高く、「言葉の意味を知っている」(23.7%)と合わせると、言葉を知っている人が6割以上となっている。
- 一方で、「聞いたことがない・知らない」が約3割となっている。



■年代別

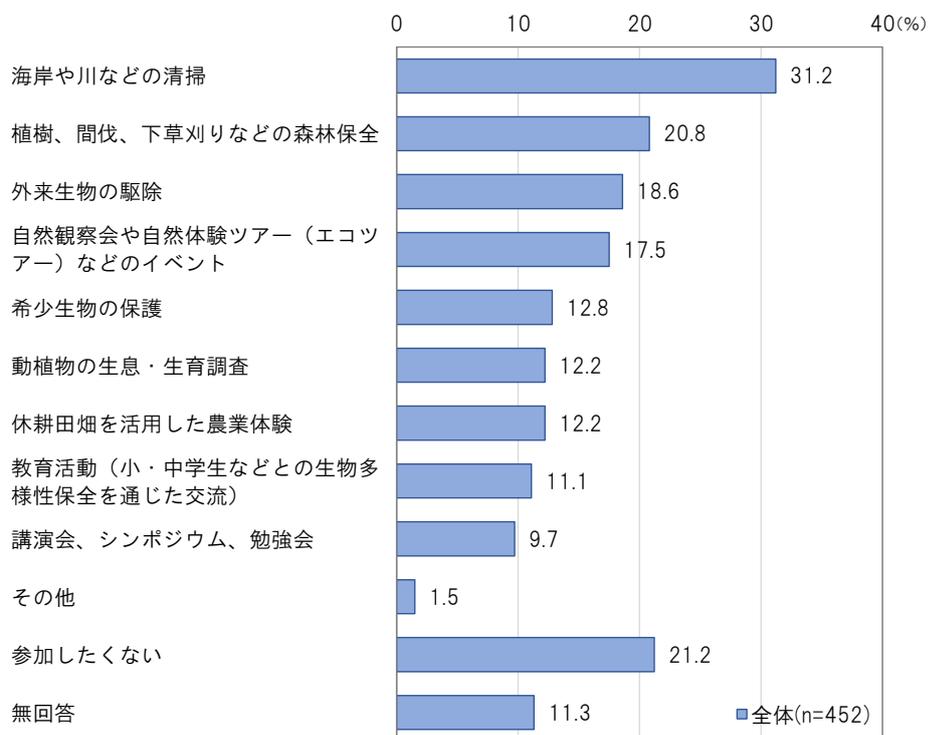
- 年代別にみると、50～60歳代では「聞いたことがない・知らない」が4割近くを占めて最も高くなっている。
- 一方で、10歳代及び80歳以上では「言葉の意味を知っている」が最も高くなっている。

	回答者数 (人)	言葉の意味を知 っている	意味は知らない が、言葉は聞いた ことがある	聞いたことがな い・知らない	無回答
10歳代	7	42.9	28.6	28.6	-
20歳代	48	22.9	58.3	18.8	-
30歳代	52	25.0	50.0	23.1	1.9
40歳代	54	31.5	46.3	22.2	-
50歳代	82	26.8	31.7	37.8	3.7
60歳代	97	25.8	33.0	39.2	2.1
70歳代	104	14.4	44.2	29.8	11.5
80歳以上	3	33.3	33.3	-	33.3

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 生物多様性を保全・利用するために参加してみたい活動

- 生物多様性を保全・利用するために参加してみたい活動については、「海岸や川などの清掃」が31.2%と3割を超えて最も高く、次いで「植樹、間伐、下草刈りなどの森林保全」(20.8%)、「外来生物の駆除」(18.6%)、「自然観察会や自然体験ツアー（エコツアー）などのイベント」(17.5%)の順となっている。
- 一方で、「参加したくない」が21.2%と2割以上となっている。



■年代別

- 年代別にみると、10歳代、40～50歳代、80歳以上では「参加したくない」が最も高くなっている。
- その他、10歳代では「希少生物の保護」、20歳代では「動植物の生息・生育調査」、30歳代では「植樹、間伐、下草刈りなどの森林保全」や「休耕田畑を活用した農業体験」、「教育活動（小・中学生などとの生物多様性保全を通じた交流）」、30～40歳代では「自然観察会や自然体験ツアー（エコツアー）などのイベント」で、それぞれその他の年代に比べてやや高くなっている。

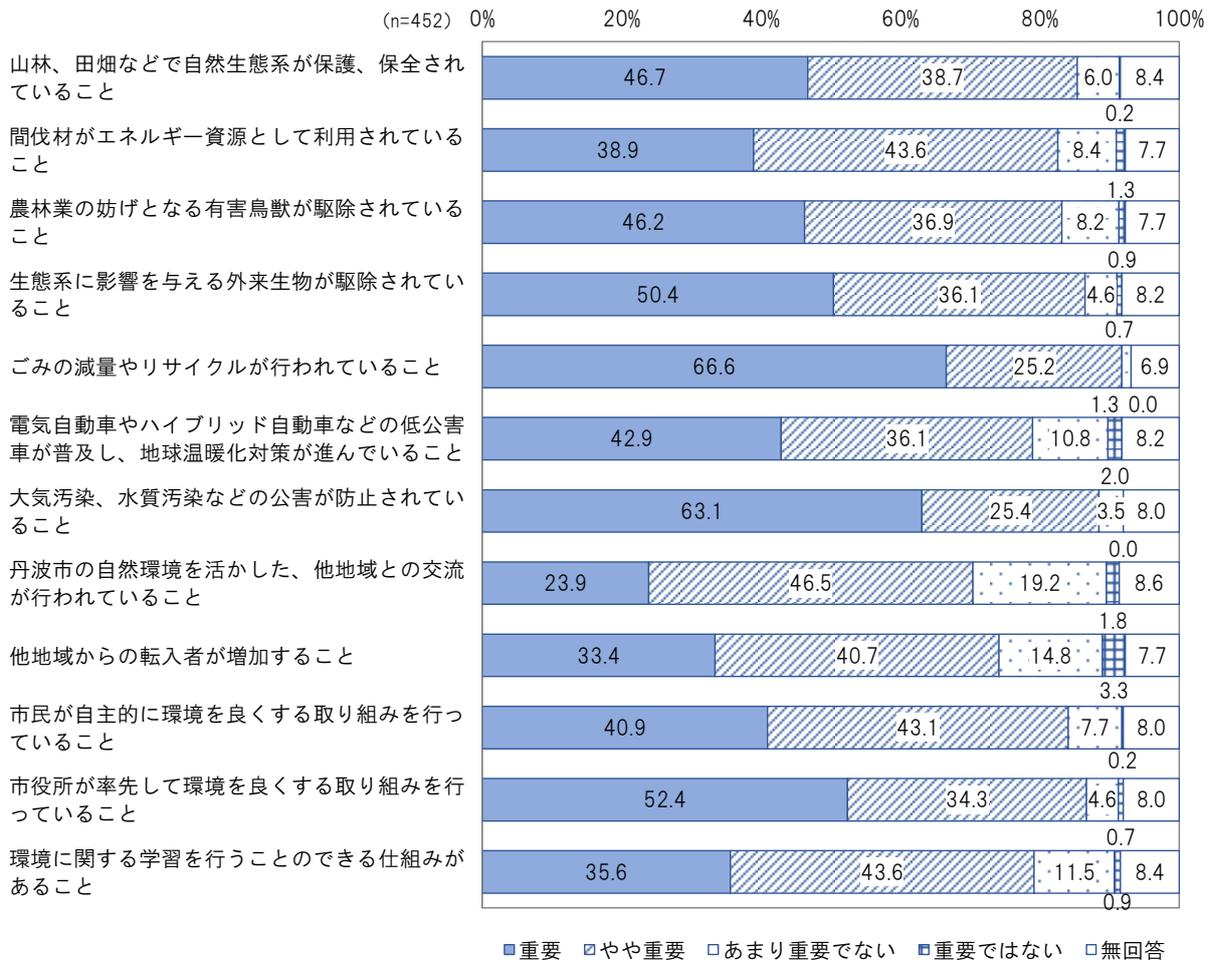
	回答者数（人）	海岸や川などの清掃	植樹、間伐、下草刈りなどの森林保全	外来生物の駆除	自然観察会や自然体験ツアー（エコツアー）などのイベント	希少生物の保護	動植物の生息・生育調査
10歳代	7	28.6	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3
20歳代	48	37.5	20.8	18.8	27.1	12.5	22.9
30歳代	52	36.5	28.8	15.4	30.8	17.3	19.2
40歳代	54	24.1	14.8	14.8	29.6	18.5	14.8
50歳代	82	25.6	18.3	14.6	6.1	9.8	8.5
60歳代	97	41.2	20.6	24.7	21.6	11.3	10.3
70歳代	104	26.9	24.0	20.2	6.7	10.6	7.7
80歳以上	3	-	-	-	-	-	-

(つづき)	回答者数（人）	休耕田畑を活用した農業体験	教育活動（小・中学生などとの生物多様性保全を通じた交流）	講演会、シンポジウム、勉強会	その他	参加したくない	無回答
10歳代	7	-	-	14.3	-	42.9	-
20歳代	48	10.4	2.1	8.3	-	22.9	-
30歳代	52	21.2	25.0	5.8	-	13.5	9.6
40歳代	54	13.0	18.5	11.1	-	29.6	5.6
50歳代	82	13.4	7.3	9.8	2.4	29.3	7.3
60歳代	97	8.2	12.4	15.5	2.1	16.5	8.2
70歳代	104	12.5	7.7	6.7	2.9	16.3	22.1
80歳以上	3	-	-	-	-	66.7	33.3

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

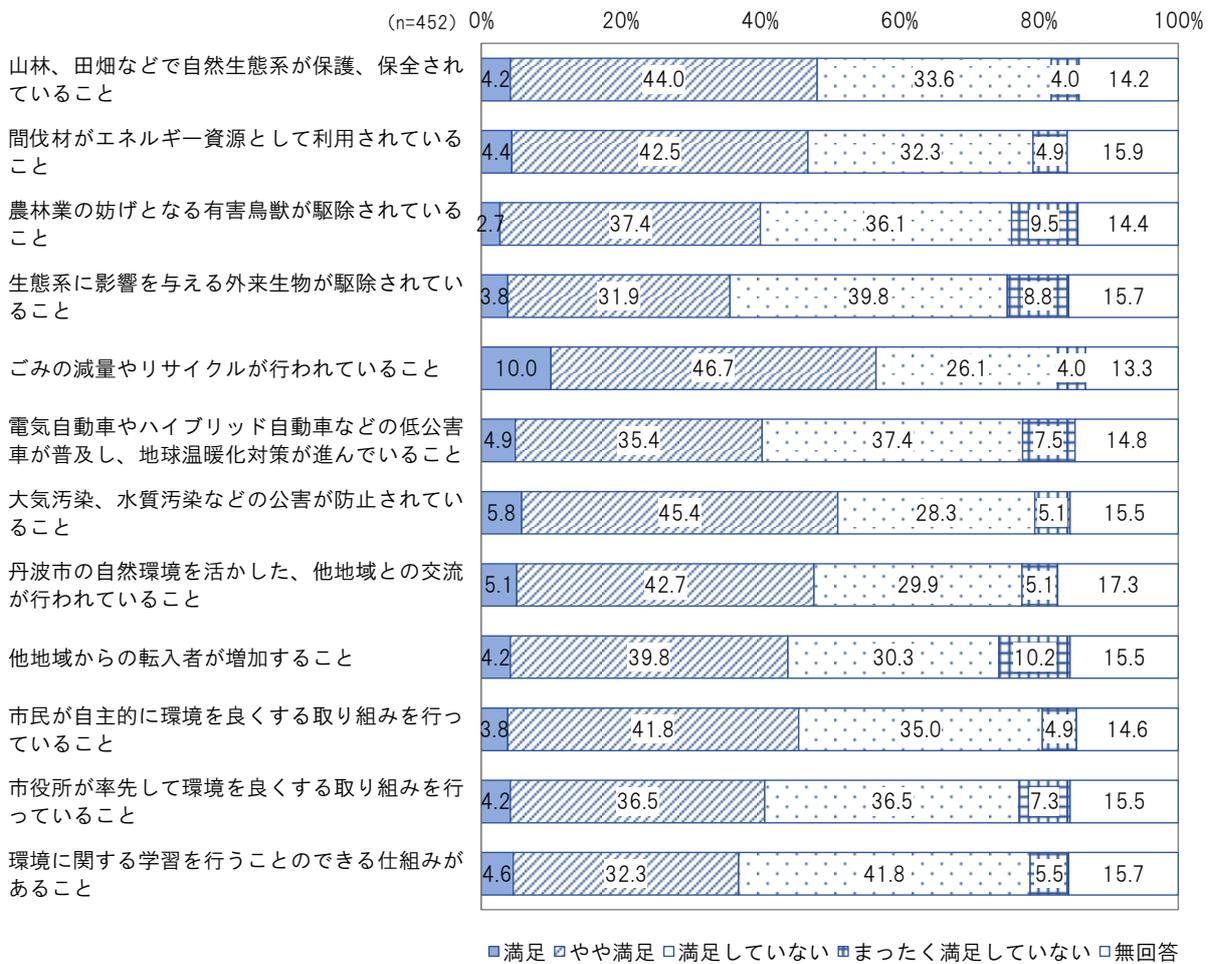
(7) 行政施策（丹波市の取り組み）の重要度

・行政施策（丹波市の取り組み）の重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の割合をみると、“ごみの減量やリサイクルが行われていること”が91.8%と9割を超えて最も高く、次いで、“大気汚染、水質汚染などの公害が防止されていること”（88.5%）、“市役所が率先して環境を良くする取り組みを行っていること”（86.7%）、“生態系に影響を与える外来生物が駆除されていること”（86.5%）の順となっている。



(8) 行政施策（丹波市の取り組み）の満足度

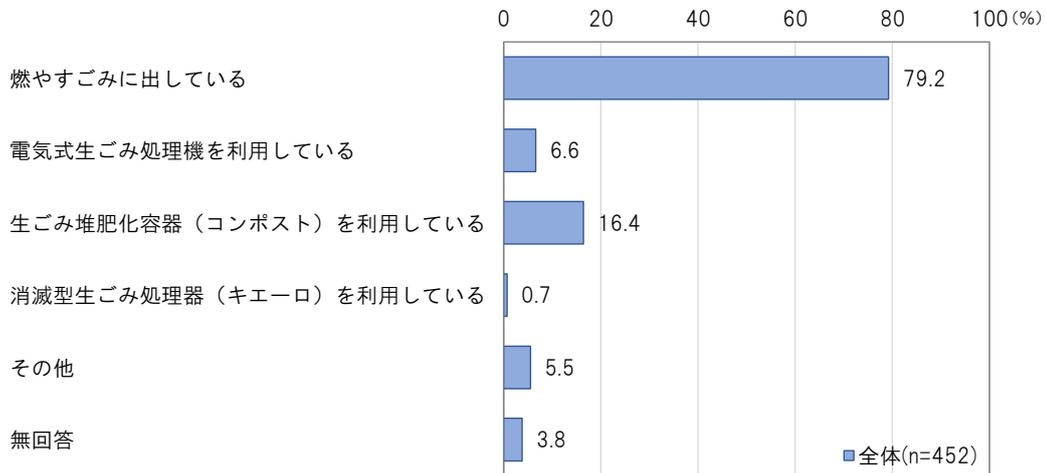
- 行政施策（丹波市の取り組み）の満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合をみると、“ごみの減量やリサイクルが行われていること”が56.7%と最も高く、次いで、“大気汚染、水質汚染などの公害が防止されていること”（51.2%）となっており、その他の項目では半数未満となっている。
- 一方で、“生態系に影響を与える外来生物が駆除されていること”、“環境に関する学習を行うことのできる仕組みがあること”では、『満足していない』（「満足していない」+「まったく満足していない」）が半数近くを占めて多くなっている。



6. 生ごみ処理について

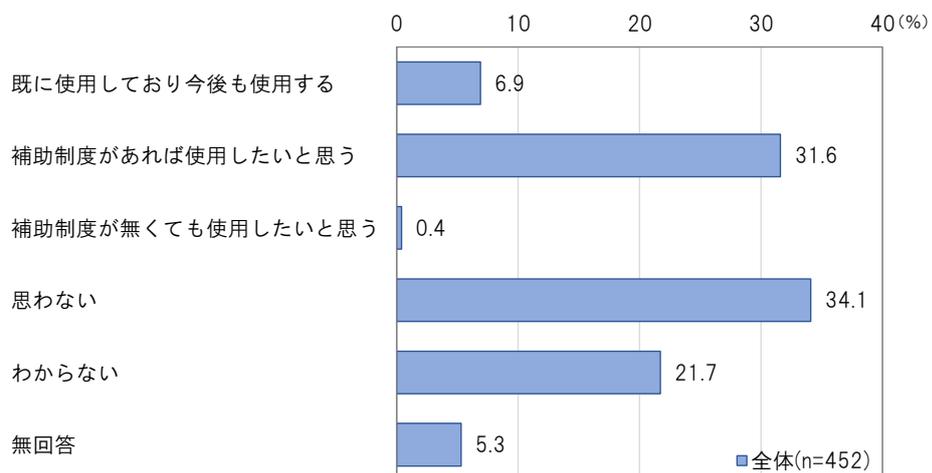
(1) 生ごみの処理方法

- 生ごみの処理方法については、「燃やすごみに出している」が79.2%とその他の項目と比べて突出して高くなっている。次いで、「生ごみ堆肥化容器（コンポスト）を利用している」（16.4%）となっており、「電気式生ごみ処理機を利用している」（6.6%）、「消滅型生ごみ処理器（キエーロ）を利用している」（0.7%）と合わせると、生ごみ処理をしている人は2割程度となっている。



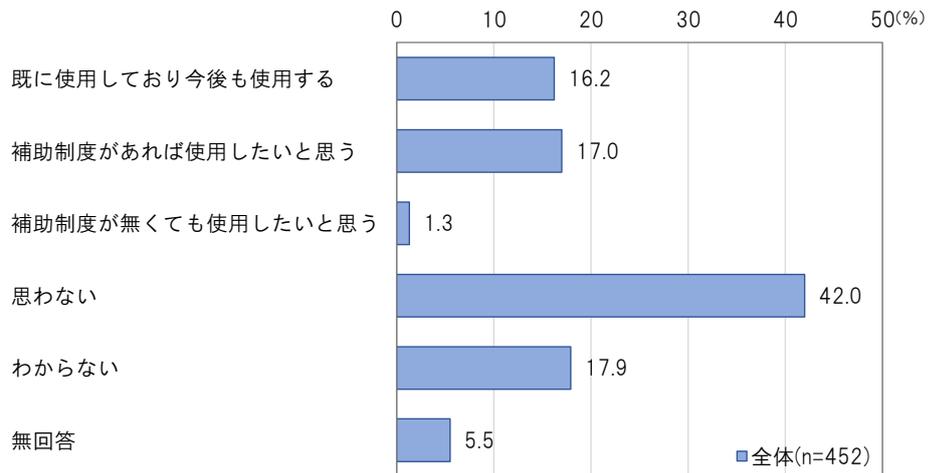
(2) 電気式生ごみ処理機の使用意向

- 電気式生ごみ処理機の使用意向については、「思わない」が34.1%と最も高くなっている。
- 次いで「補助制度があれば使用したいと思う」が31.6%と3割以上を占め、「既に使用しており今後も使用する」（6.9%）と「補助制度が無くても使用したいと思う」（0.4%）を合わせた使用意向のある人は4割近くとなっている。



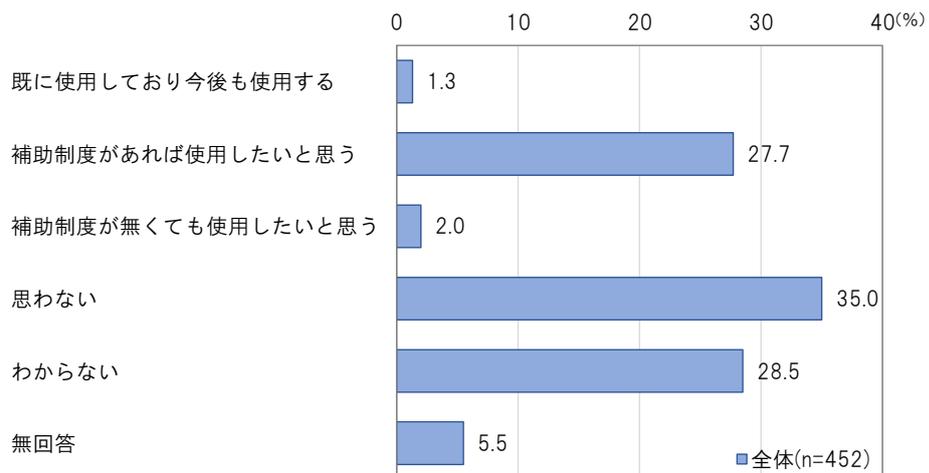
(3) 生ごみ堆肥化容器（コンポスト）の使用意向

- 生ごみ堆肥化容器（コンポスト）の使用意向については、「思わない」が42.0%と最も高くなっている。
- 次いで「補助制度があれば使用したいと思う」（17.0%）、「既に使用しており今後も使用する」（16.2%）となっており、「補助制度が無くても使用したいと思う」（1.3%）を合わせた使用意向のある人は3割以上となっている。



(4) 消滅型生ごみ処理器（キエーロ）の使用意向

- 消滅型生ごみ処理器（キエーロ）の使用意向については、「思わない」が35.0%と最も高くなっている。
- 次いで「補助制度があれば使用したいと思う」が27.7%と3割近くを占め、「既に使用しており今後も使用する」（1.3%）と「補助制度が無くても使用したいと思う」（2.0%）を合わせた使用意向のある人は3割以上となっている。



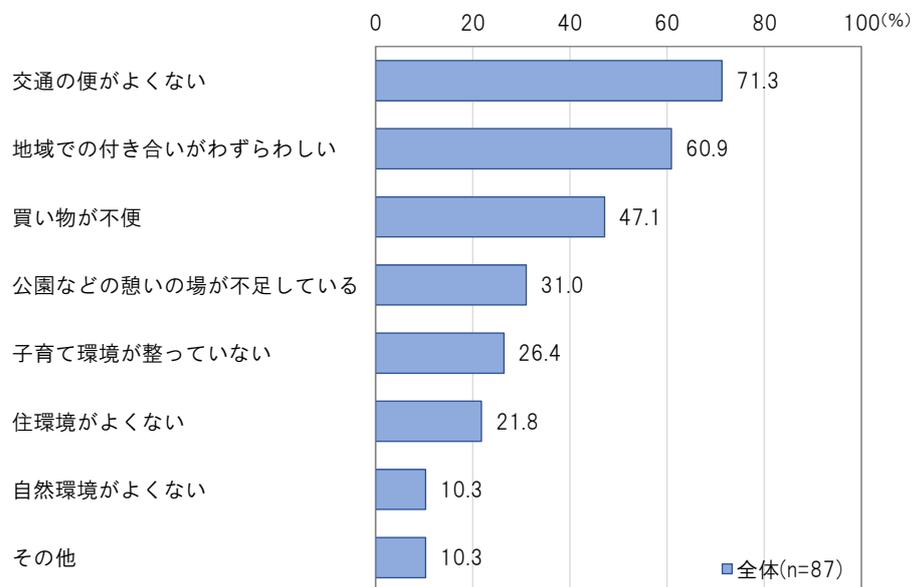
7. その他

(1) 丹波市での今後の居留意向

- 丹波市での今後の居留意向については、「住みたい」が 78.3%と8割近くを占め、「住みたくない」は約2割となっている。
- 住みたくない理由では、「交通の便がよくない」が71.3%と7割を超えて最も高く、次いで「地域での付き合いがわずらわしい」(60.9%)、「買い物が不便」(47.1%)の順となっている。



《住みたくない理由》



■居住地域別

- すべての地域で「住み続けたい」が大半を占めているものの、青垣地域においては、「住み続けたくない」が3割近くを占め、その他の地域に比べてやや高くなっている。
- 住み続けたくない理由では、市島地域では「買い物が不便」、春日地域では「公園などの憩いの場が不足している」や「子育て環境が整っていない」、山南地域では「住環境がよくない」が、それぞれ他の地域に比べてやや高くなっている。

	回答者数(人)	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
柏原地域	66	81.8	18.2	-
氷上地域	119	80.7	16.8	2.5
青垣地域	55	70.9	27.3	1.8
春日地域	61	85.2	14.8	-
山南地域	82	79.3	20.7	-
市島地域	62	77.4	21.0	1.6

《住み続けたくない理由》※地域別回答の母数が少ないため参考値

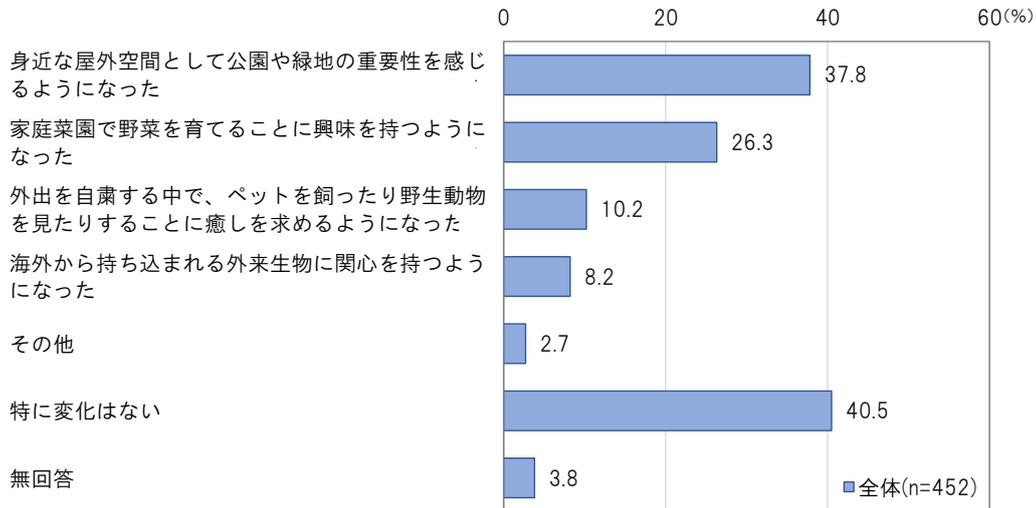
	回答者数(人)	交通の便がよくない	地域での付き合いが わずらわしい	買い物が不便	公園などの憩いの場 が不足している
柏原地域	12	66.7	66.7	33.3	33.3
氷上地域	20	65.0	65.0	45.0	30.0
青垣地域	15	80.0	53.3	46.7	26.7
春日地域	9	55.6	66.7	33.3	44.4
山南地域	17	76.5	58.8	52.9	23.5
市島地域	13	84.6	53.8	61.5	30.8

(つづき)	回答者数(人)	子育て環境が整っていない	住環境がよくない	自然環境がよくない	その他
柏原地域	12	16.7	16.7	16.7	16.7
氷上地域	20	30.0	20.0	15.0	15.0
青垣地域	15	6.7	-	-	13.3
春日地域	9	55.6	11.1	22.2	-
山南地域	17	23.5	58.8	11.8	11.8
市島地域	13	38.5	15.4	-	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自然環境に関する意識の変化

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自然環境に関する意識の変化については、「特に変化はない」が40.5%と約4割を占めて最も高くなっている。
- 意識の変化があった人では、「身近な屋外空間として公園や緑地の重要性を感じるようになった」が37.8%と高く、次いで「家庭菜園で野菜を育てることに興味を持つようになった」(26.3%)の順となっている。



■年代別

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「海外から持ち込まれる外来生物に関心を持つようになった」が高くなる傾向がみられる。

	回答者数(人)	身近な屋外空間として公園や緑地の重要性を感じるようになった	家庭菜園で野菜を育てることに興味を持つようになった	外出を自粛する中で、ペットを飼ったり野生動物を見たりすることに癒しを求めるようになった	海外から持ち込まれる外来生物に関心を持つようになった	その他	特に変化はない	無回答
10歳代	7	28.6	-	14.3	-	-	57.1	-
20歳代	48	45.8	22.9	14.6	6.3	2.1	31.3	4.2
30歳代	52	38.5	21.2	19.2	5.8	3.8	42.3	3.8
40歳代	54	38.9	33.3	11.1	5.6	-	37.0	3.7
50歳代	82	29.3	19.5	9.8	7.3	3.7	56.1	-
60歳代	97	39.2	28.9	8.2	11.3	1.0	41.2	-
70歳代	104	42.3	33.7	5.8	10.6	4.8	33.7	3.8
80歳以上	3	-	-	-	-	-	33.3	66.7

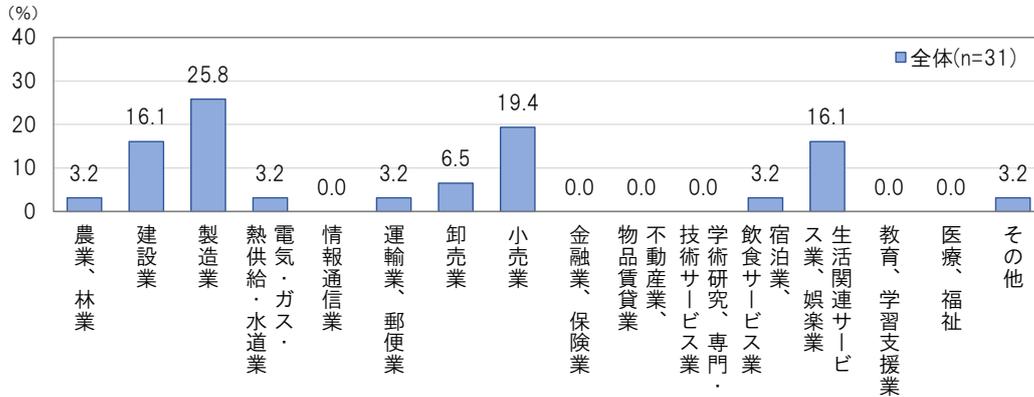
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

Ⅲ 事業所アンケート調査結果

1. 回答事業所の属性

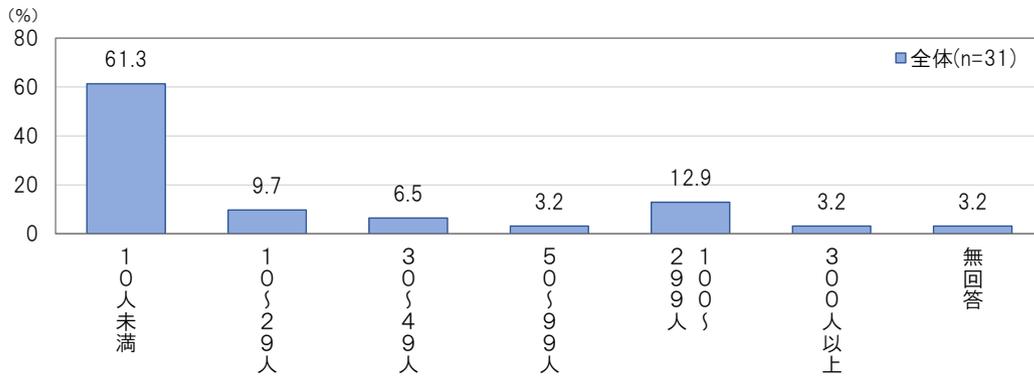
(1) 業種

- ・回答事業所の業種は、「製造業」が 25.8%と最も高く、次いで「小売業」(19.4%)、「建設業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」(16.1%)の順となっている。



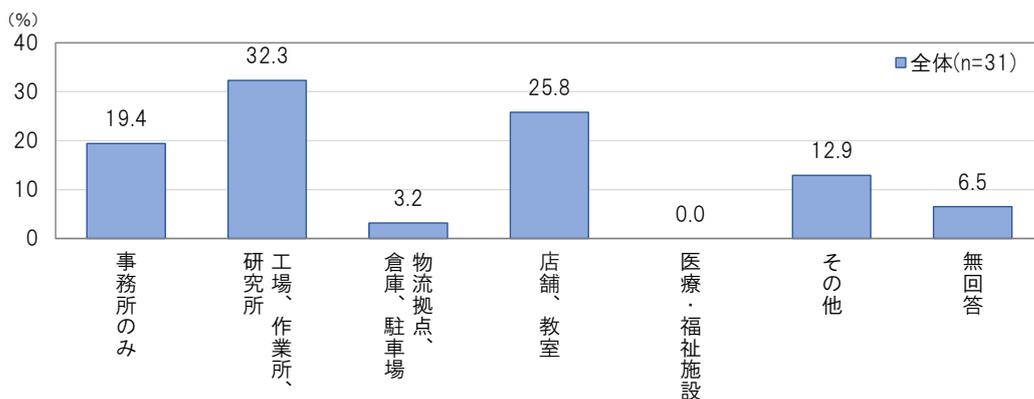
(2) 従業員規模

- ・回答事業所の従業員規模は、「10 人未満」が 61.3%と最も高く、次いで「100~299 人」(12.9%)、「10~29 人」(9.7%)の順となっている。



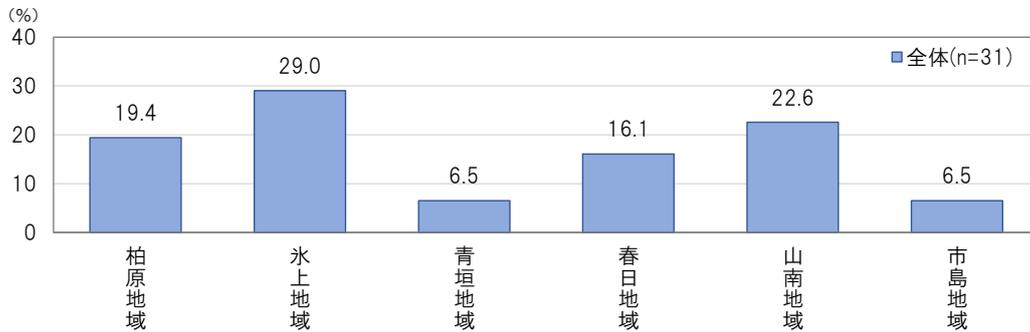
(3) 事業所の種別

- ・回答事業所の種別は、「工場、作業所、研究所」が 32.3%と最も高く、次いで「店舗、教室」(25.8%)、「事務所のみ」(19.4%)の順となっている。



(4) 所在地

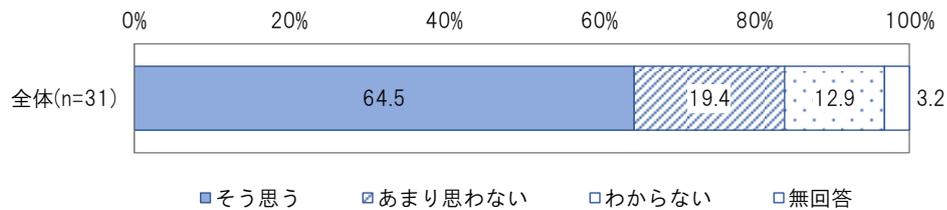
- ・回答事業所の所在地は、「氷上地域」が29.0%と最も高く、次いで「山南地域」(22.6%)、「柏原地域」(19.4%)の順となっている。



2. 環境問題に関する取り組みについて

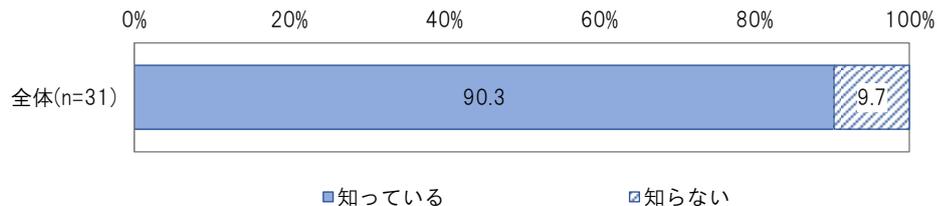
(1) 地球温暖化への対応は差し迫った問題であるとの認識

- ・地球温暖化への対応は差し迫った問題であるとの認識については、「そう思う」が64.5%と6割を超えて最も高くなっており、「あまり思わない」は19.4%となっている。



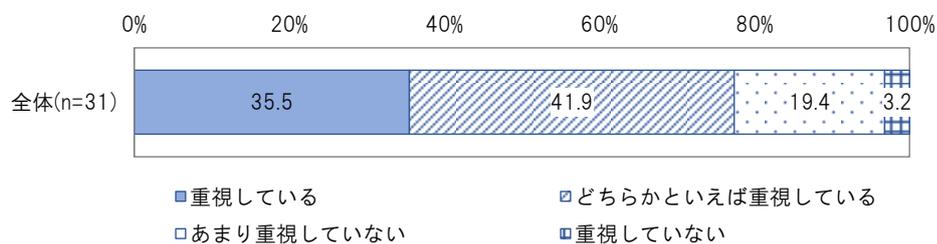
(2) 温室効果ガス排出量の削減目標の認知

- ・温室効果ガス排出量の削減目標については、「知っている」が90.3%と約9割を占めている。



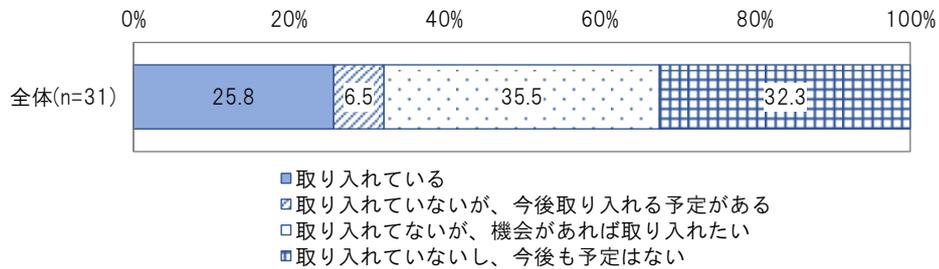
(3) 経営方針における環境への配慮の重視

- ・経営方針における環境への配慮の重視については、「どちらかといえば重視している」が41.9%と4割以上を占めて最も高く、「重視している」(35.5%)と合わせると、環境への配慮を重視している事業所が8割近くを占めている。一方で、『重視していない』(「あまり重視していない」+「重視していない」)が2割以上となっている。



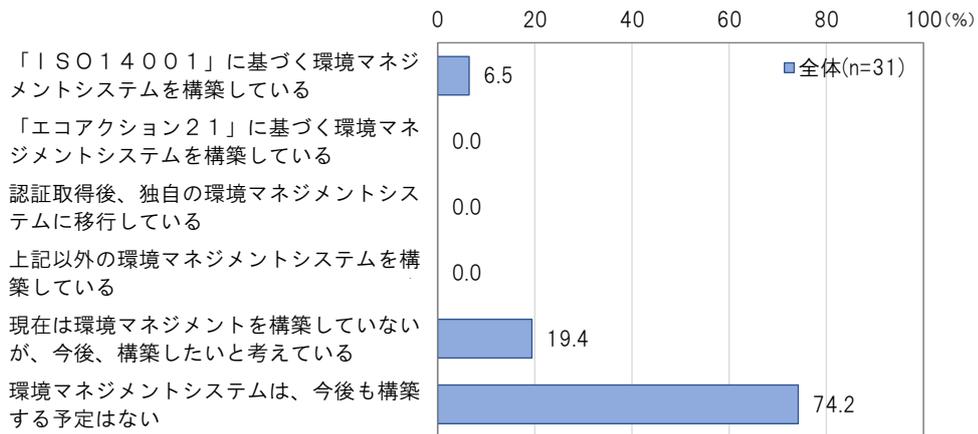
(4) 経営方針やCSRへのSDGsの取り入れ

- 経営方針やCSRにおけるSDGsの取り入れについては、「取り入れてないが、機会があれば取り入れたい」が35.5%と最も高くなっており、「取り入れている」は25.8%となっている。



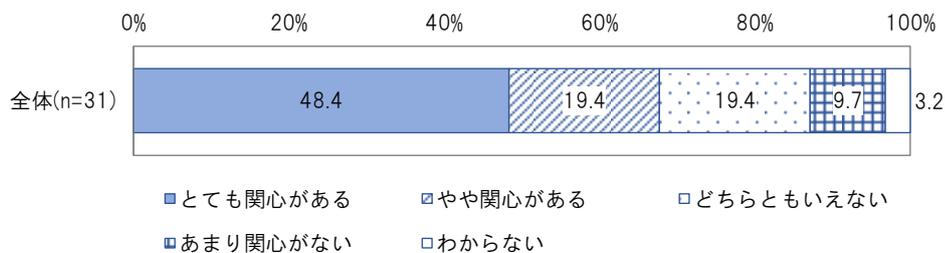
(5) 環境マネジメントシステム（EMS）の導入状況

- 環境マネジメントシステム（EMS）の導入状況については、「環境マネジメントシステムは、今後も構築する予定はない」が74.2%と大半を占めている。
- 次いで「現在は環境マネジメントを構築していないが、今後、構築したいと考えている」が約2割となっており、検討中の規格については「エコアクション21」との回答となっている。



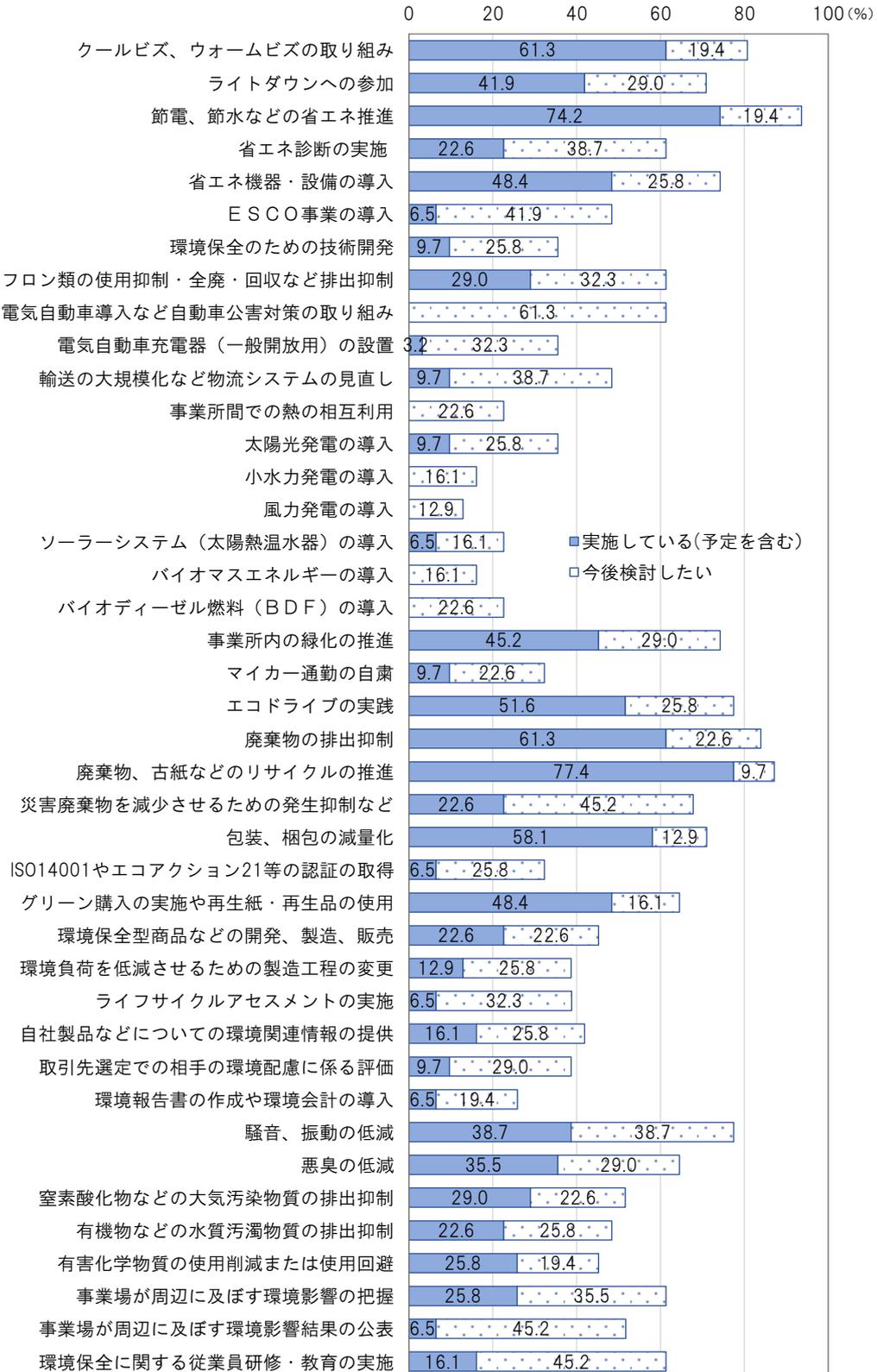
(6) 気候変動や適応策への関心

- 気候変動や適応策への関心については、「とても関心がある」が48.4%と半数近くを占めて最も高く、「やや関心がある」(19.4%)と合わせると、気候変動や適応策に関心のある事業所が7割近くを占めている。
- 一方で、「あまり関心がない」が約1割となっている。



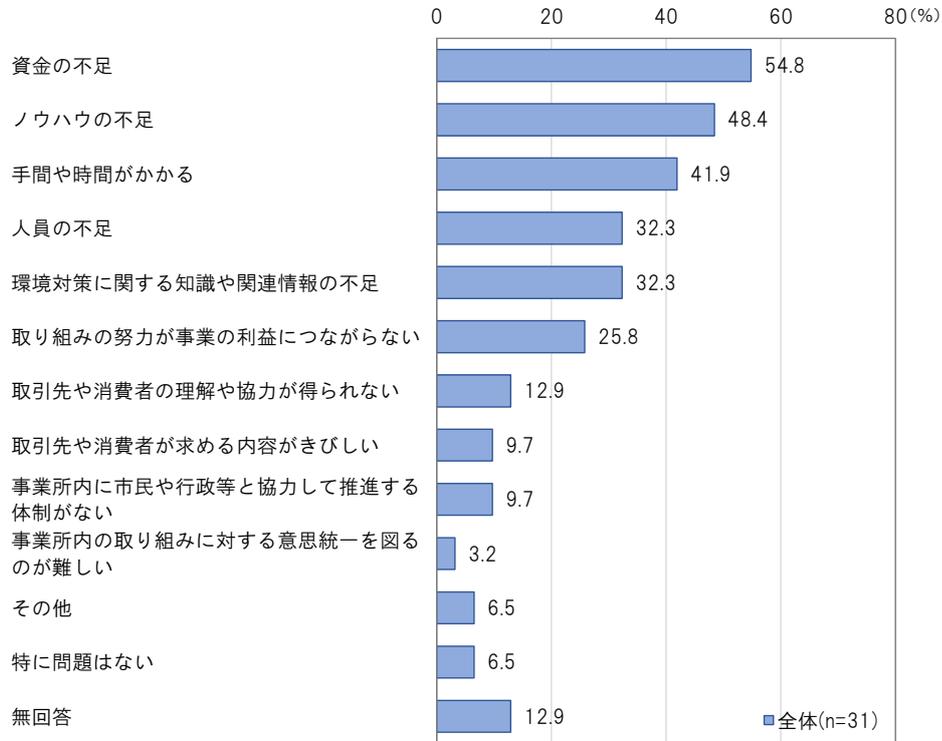
(7) 省エネやごみ減量等の取り組み状況

・現在実施している取り組みでは、「廃棄物、古紙などのリサイクルの推進」が77.4%と最も高く、次いで「節電、節水などの省エネ推進」(74.2%)、「クールビズ、ウォームビズの取り組み」及び「廃棄物の排出抑制」(61.3%)の順となっている。今後検討したい取り組みでは、「電気自動車導入など自動車公害対策の取り組み」が61.3%と最も高くなっている。



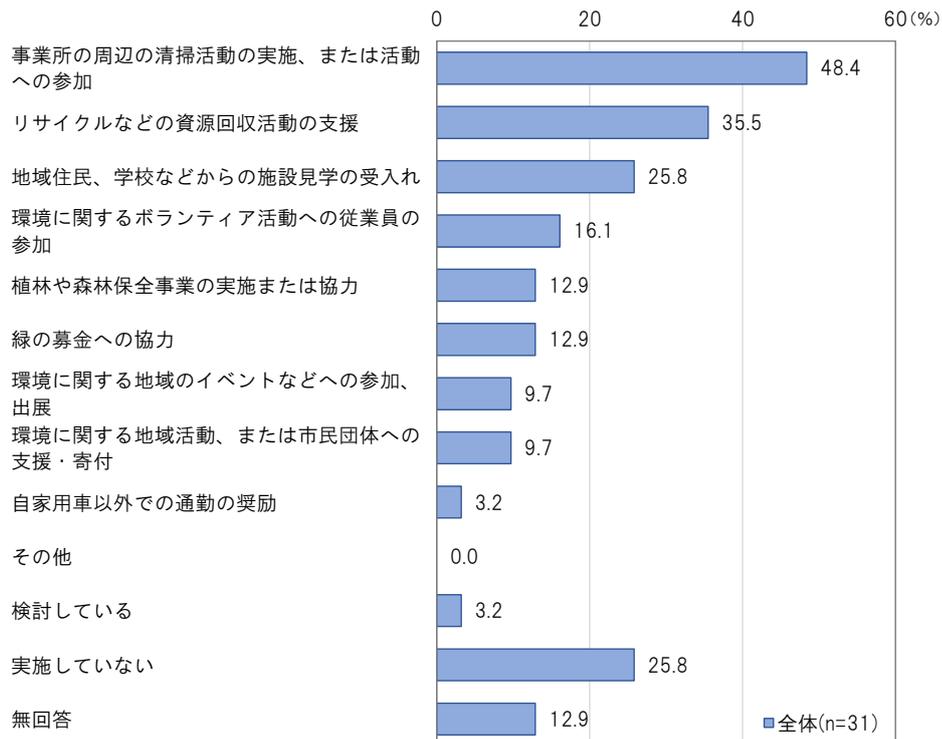
(8) 環境問題への取り組みを進める上での問題

- ・環境問題への取り組みを進める上での問題では、「資金の不足」が54.8%と半数を超えて最も高く、次いで「ノウハウの不足」(48.4%)、「手間や時間がかかる」(41.9%)の順となっている。



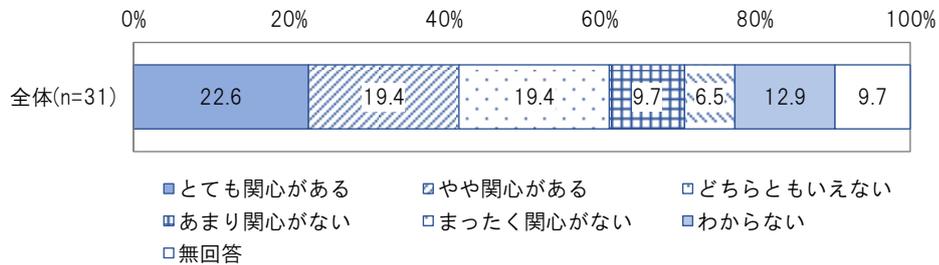
(9) 環境に関する社会貢献活動の実施状況

- ・環境に関する社会貢献活動では、「事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加」が48.4%と最も高く、次いで「リサイクルなどの資源回収活動の支援」(35.5%)となっている。



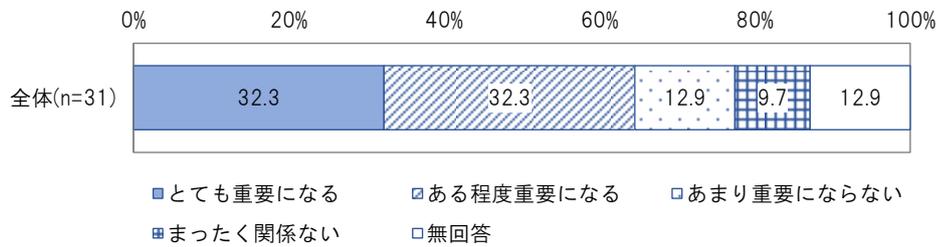
(10) エシカル消費への関心

・エシカル消費への関心では、「とても関心がある」が 22.6%と2割を超えて最も高く、「やや関心がある」(19.4%) と合わせると、関心のある事業所が4割以上を占めている。



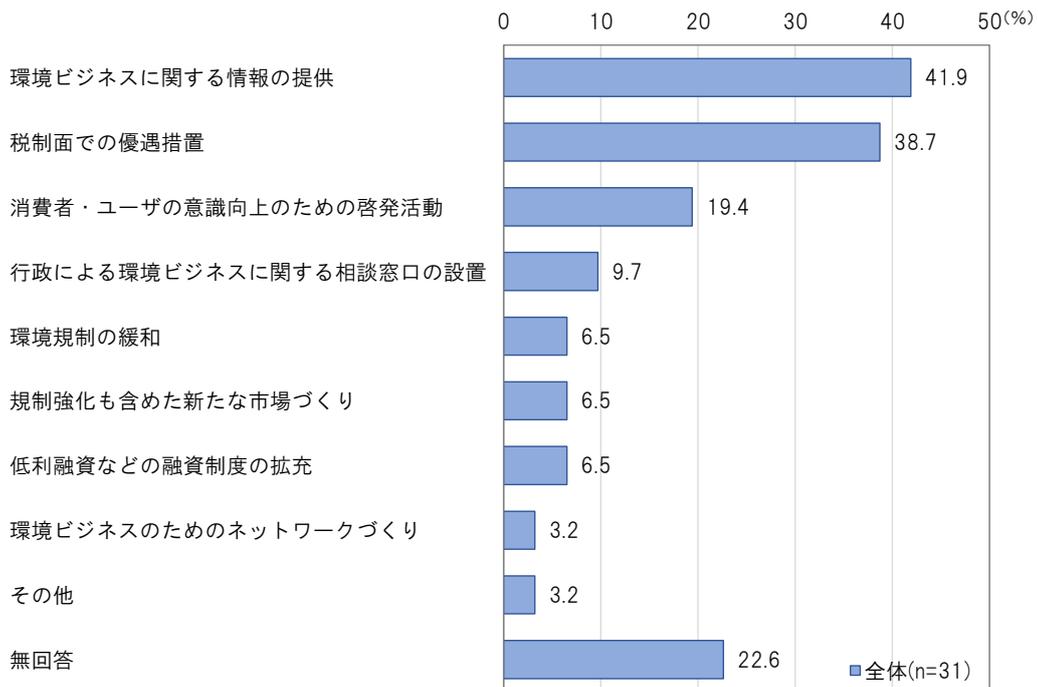
(11) 今後の経営における環境ビジネスの重要度

・今後の経営における環境ビジネスの重要度では、「とても重要になる」及び「ある程度重要になる」がともに 32.3%と3割を超えて最も高く、重要になると考える事業所が6割以上を占めている。



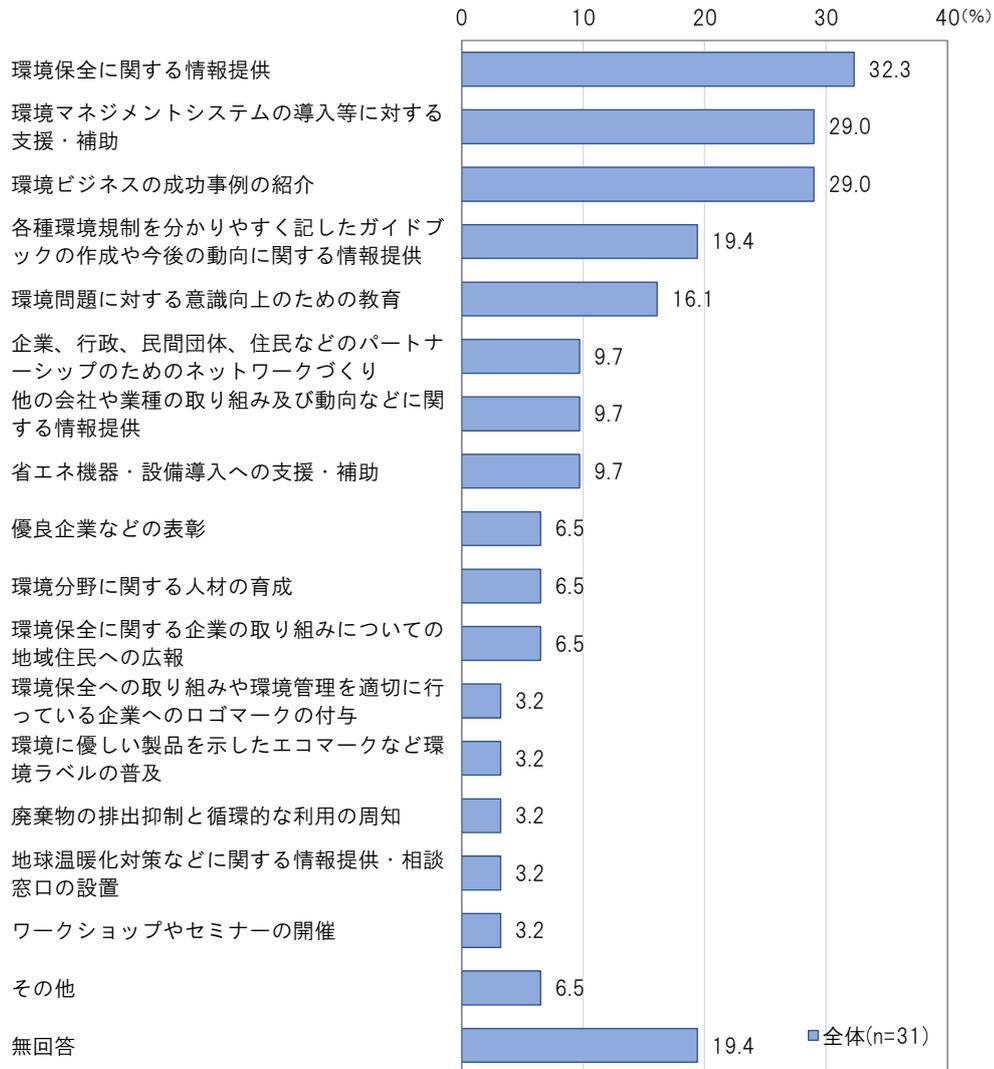
(12) 環境ビジネスの進展のために行政に望むこと

・環境ビジネスの進展のために行政に望むことでは、「環境ビジネスに関する情報の提供」が 41.9%と4割を超えて最も高く、次いで「税制面での優遇措置」(38.7%)、「消費者・ユーザの意識向上のための啓発活動」(19.4%) の順となっている。



(13) 環境問題への取り組みを進める上で市に支援して欲しいこと

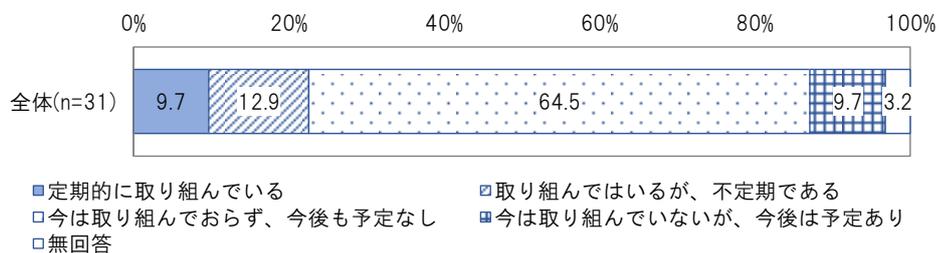
・環境問題への取り組みを進める上で市に支援して欲しいことでは、「環境保全に関する情報提供」が32.3%と3割を超えて最も高く、次いで「環境マネジメントシステムの導入等に対する支援・補助」及び「環境ビジネスの成功事例の紹介」(29.0%)、「各種環境規制を分かりやすく記したガイドブックの作成や今後の動向に関する情報提供」(19.4%)の順となっている。



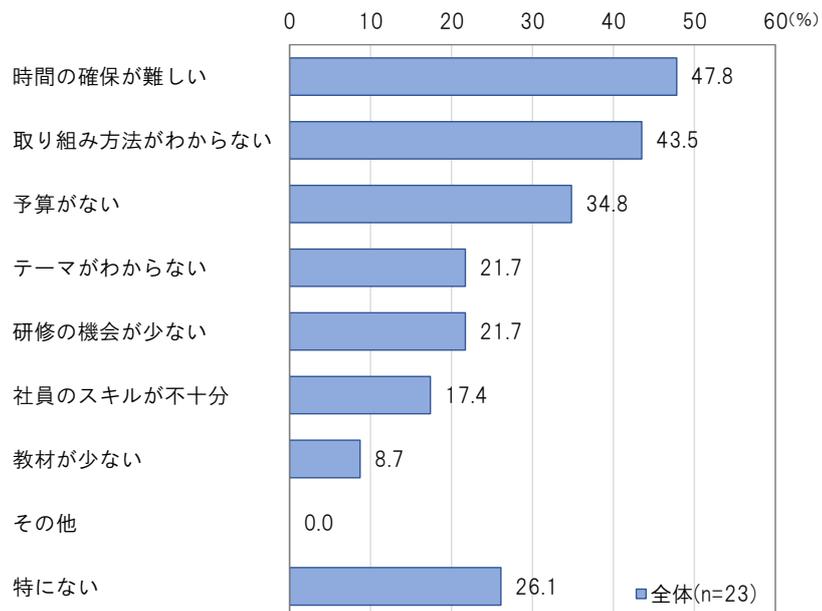
3. 環境教育・環境学習の実施状況について

(1) 環境教育・環境学習の取り組み状況

- 環境教育・環境学習の取り組み状況については、「今は取り組んでおらず、今後も予定なし」が64.5%と6割を超えて最も高くなっており、『取り組んでいる』（「定期的に取り組んでいる」＋「取り組んではいるが、不定期である」）は2割程度となっている。
- 取り組んでいる事業所（7事業所）の取り組みの内容については、「節電やクールビズ・ウォームビズ等の省エネ推進や再生可能エネルギーへの転換」や「ごみの分別・リサイクル」が各5事業所で最も多く、次いで「環境汚染（大気・水質・土壌・化学物質）の対策」（3事業所）となっている。
- 取り組んでいない事業所の理由については、「時間の確保が難しい」が47.8%と最も高く、次いで「取り組み方法がわからない」（43.5%）、「予算がない」（34.8%）の順となっている。

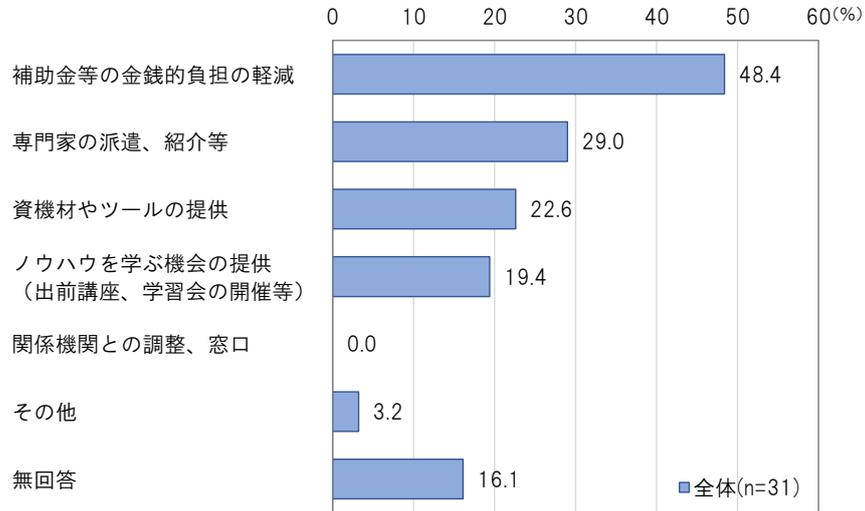


《取り組んでいない理由》



(2) 環境教育を実施する上で市に支援して欲しいこと

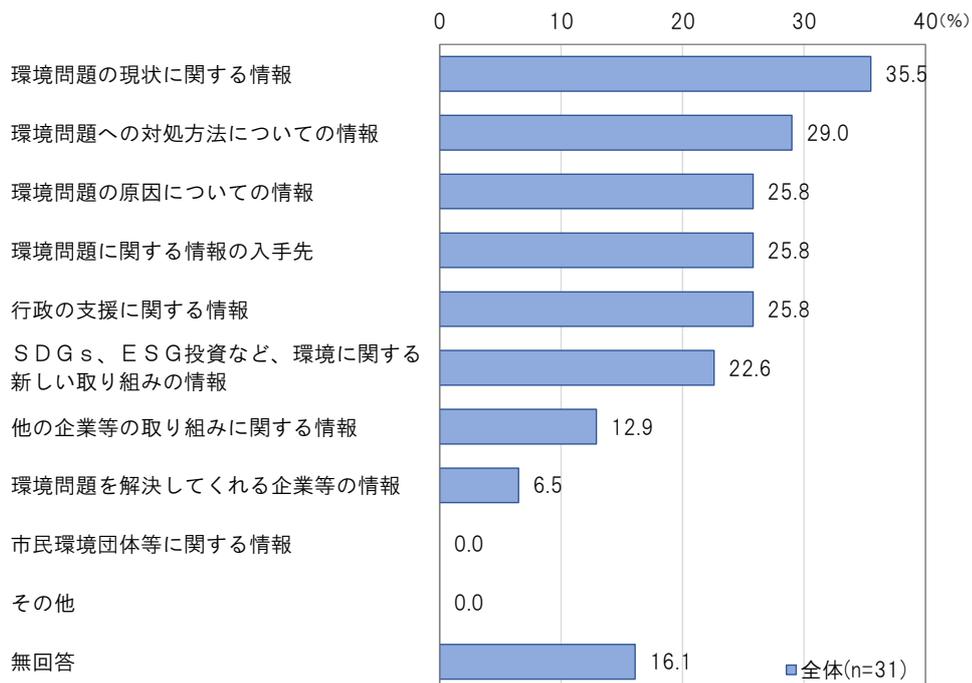
・環境教育を実施する上で市に支援して欲しいことでは、「補助金等の金銭的負担の軽減」が48.4%と半数近くを占めて最も高く、次いで「専門家の派遣、紹介等」(29.0%)、「資機材やツールの提供」(22.6%)、「ノウハウを学ぶ機会の提供(出前講座、学習会の開催等)」(19.4%)の順となっている。



4. 情報の入手、発信について

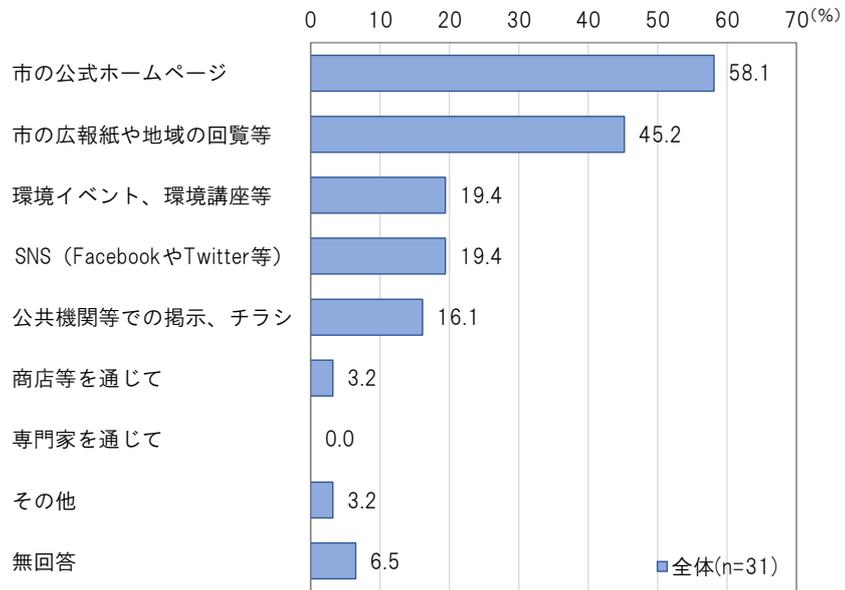
(1) 市から発信される環境の情報として知りたい内容

・市から発信される環境の情報として知りたい内容については、「環境問題の現状に関する情報」が35.5%と最も高く、次いで「環境問題への対処方法についての情報」(29.0%)、「環境問題の原因についての情報」及び「環境問題に関する情報の入手先」、「行政の支援に関する情報」(25.8%)の順となっている。



(2) 市から発信される環境の情報取得に使いたい手段

- 市から発信される環境の情報取得に使いたい手段については、「市の公式ホームページ」が58.1%と6割近くを占めて最も高く、次いで「市の広報紙や地域の回覧等」(45.2%)、「環境イベント、環境講座等」及び「SNS (Facebook や Twitter 等)」(19.4%) の順となっている。



(3) 環境への取り組みに関する外部への発信

- 環境への取り組みに関する外部への発信については、「発信していない」が71.0%と大半を占め、「発信している」は3割未満となっている。
- 発信している事業所(8事業所)の発信方法については、「ホームページ」が7事業所で最も多く、「SNS (Facebook や Twitter 等)」や「環境報告書」での発信はそれぞれ1事業所となっている。

